

Aichi-Startup戦略

— あいちスタートアップ・エコシステム構築に向けて —

2026年度予算版



2026年3月

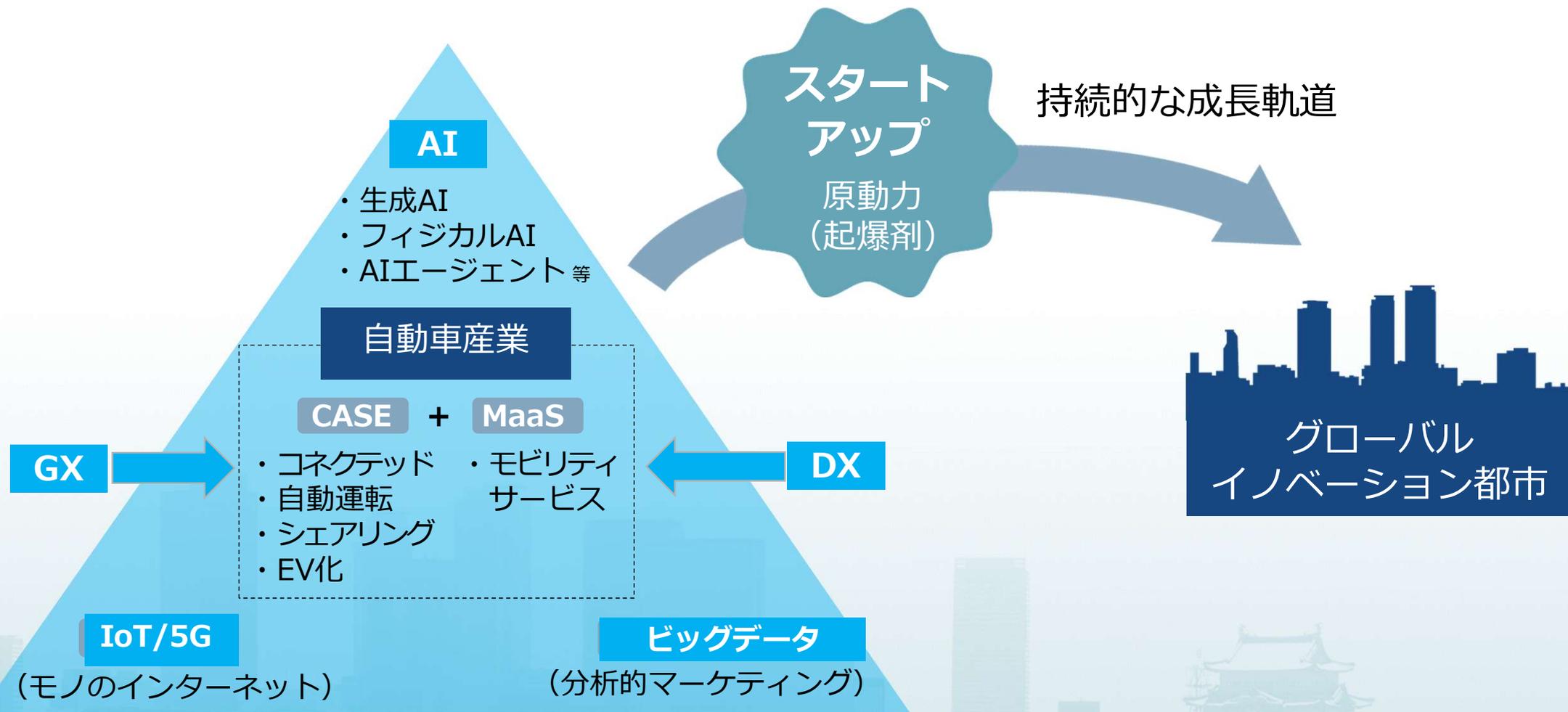
愛知県 経済産業局

- 1 背景
- 2 概念図
- 3 戦略の展開
- 4 地域総合政策パッケージ
- 5 推進体制

STATION Ai

1 あいちスタートアップ・エコシステム形成の背景

自動車産業の歴史的な大変革の中で、デジタル技術の加速度的な進展に伴う産業構造転換への対応

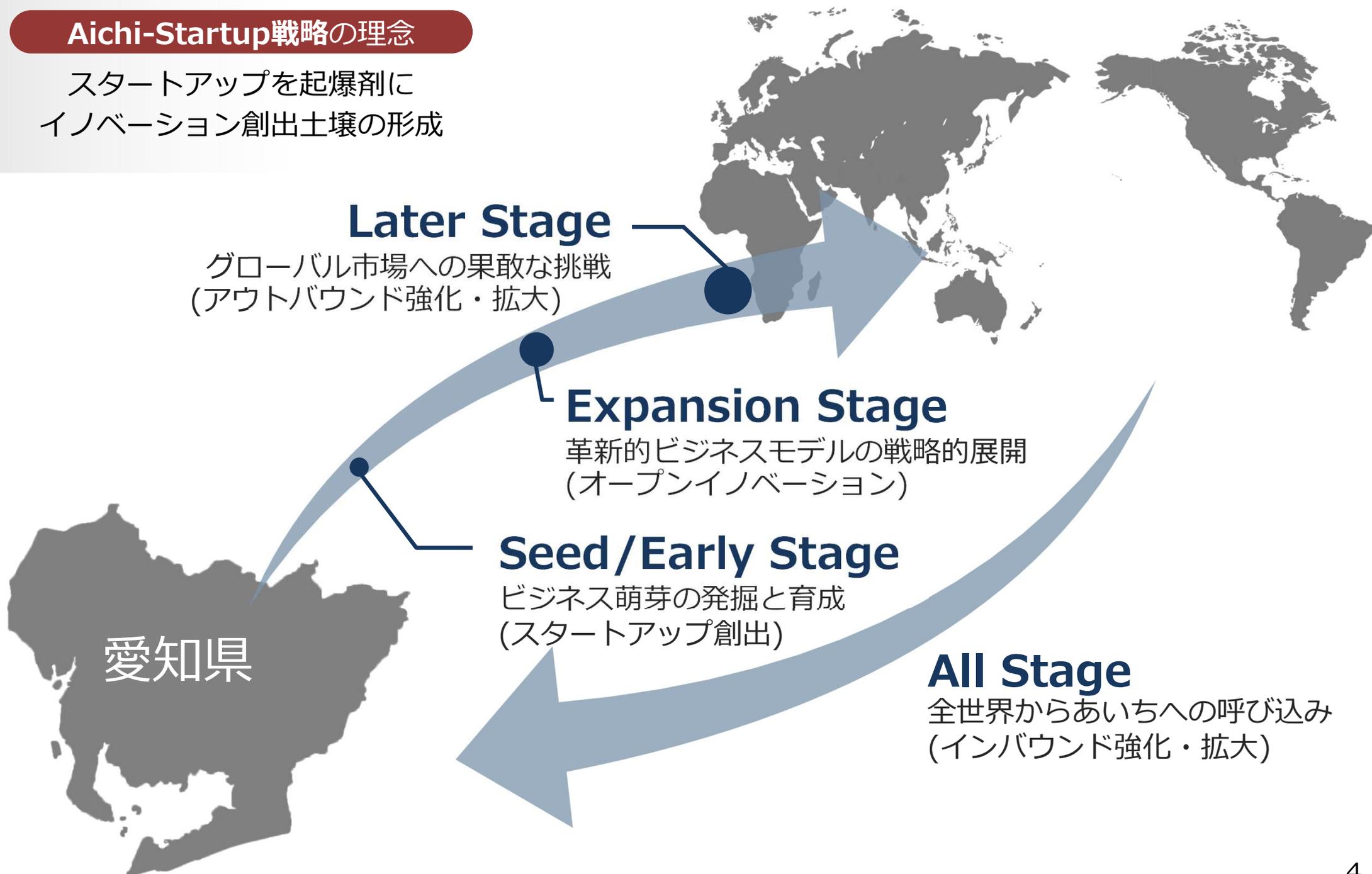


※ スタートアップは、アジャイル開発を通じて、新市場・顧客を生み出しブルーオーシャン市場を開発。この市場に対して、新たなコト・体験・価値（モノ・サービス・情報）を投入。競合がない中で、スタートアップし、イノベーション創出に貢献。独立スタートアップのほか、事業会社内、事業承継時の事業創出モデル。

2 あいちスタートアップ・エコシステムの概念図

Aichi-Startup戦略の理念

スタートアップを起爆剤に
イノベーション創出土壤の形成



3 戦略の展開：地域特性の分析

		強み	内部環境	弱み
		<p>《 基本コンセプト 》</p> <p>愛知県独自のスタートアップ エコシステムの形成</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 世界最先端技術・ノウハウの存在（高度な要素技術/基盤技術） ● 自動運転、ロボット等最新モノづくり企業中心のネットワーク ● ロケット、自動車などのモノづくりを支えるサプライチェーンの存在 ● 国土の中心となる地理的優位性 ● ベンチャースピリットを持った人材が豊富 ● 日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」
機会	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業会社のオープンイノベーション戦略への転換 ● スタートアップ創出とCVC、VCの活発化 ● CASE、MaaSからの県産業構造転換要請 ● アントレプレナー教育の活発化 ● ソーシャル・スタートアップの台頭 ● メタバース等、新しいビジネス機会の創出 ● 経年的な支援プログラムの拡充・強化 ● 新たなスタートアップ創出予備軍の出現 ● 将来、愛知県と東京都が同一都市圏となるスーパーメガリージョンが誕生 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ モノづくり企業・最先端技術とスタートアップ・最先端ビジネスモデルとの融合 ◆ 社会的課題解決と地域活性化に向けたイノベーション・プロジェクトの推進 ◆ グローバルイノベーション拠点の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業承継・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進 	
	外部環境脅威	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際的な地政学リスクの発生 ● 海外の保護主義政策に伴う影響の可能性 ● 日本国内の居住人口の減少 ● 国内外の社会的課題の複雑化の進行 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「モノづくり融合型」の愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域を挙げたオープンイノベーションの推進 ◆ スモールビジネスからスタートアップビジネスへの転換（新事業領域への転換と新産業創出）

3 戦略の展開：地域の目指す姿

国際イノベーション都市の形成（SUを起爆剤にイノベーション創出土壤の形成）

展開方向1：オープンイノベーション推進による現行産業の付加価値創造



展開方向2：スタートアップのグロースによる新産業の創出・育成



展開方向3：革新事業の創造による社会的課題の解決と地域の活性化

スタートアップや事業会社がテーマ別イノベーションプロジェクトに参加し、社会的課題の解決を図るとともに、オープンイノベーションとスタートアップの育成を実現。

展開方向4：事業承継・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進

現行事業会社の事業承継・第二創業等を機会とする、革新的新ビジネス展開支援
[イントレプレナーシップの育成]

展開方向5：

グローバル・エコシステム形成の推進

海外支援機関・大学との連携拡大による施策を強化し、海外市場への展開をサポート。



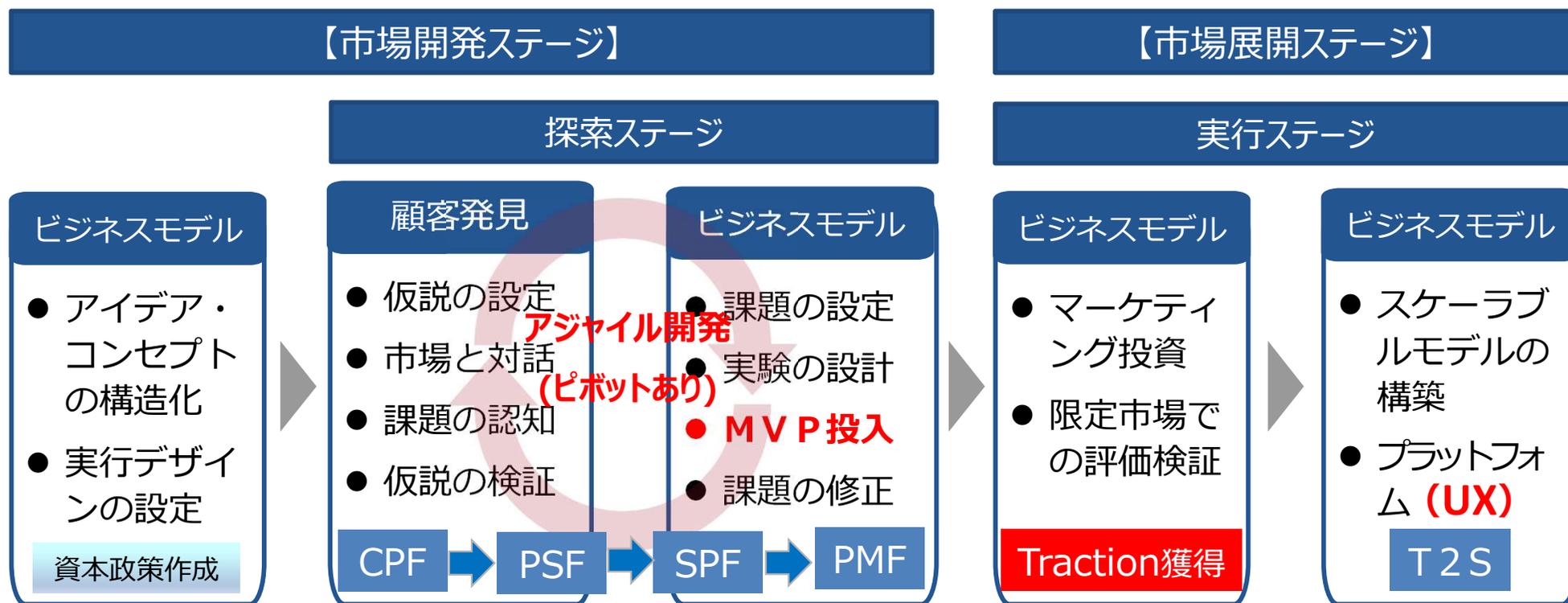
参考：アジャイル開発を伴った新市場・新顧客開発モデル

新製品・サービス市場投入モデルからスタートアップ型の新市場・顧客開発モデル

1 通常の新製品・サービスの市場投入モデル [ウォーターフォールモデル (レッドオーシャン)]



2 スタートアップ型の新製品・サービスの市場・顧客開発モデル [リーンスタートアップ (ブルーオーシャン)]



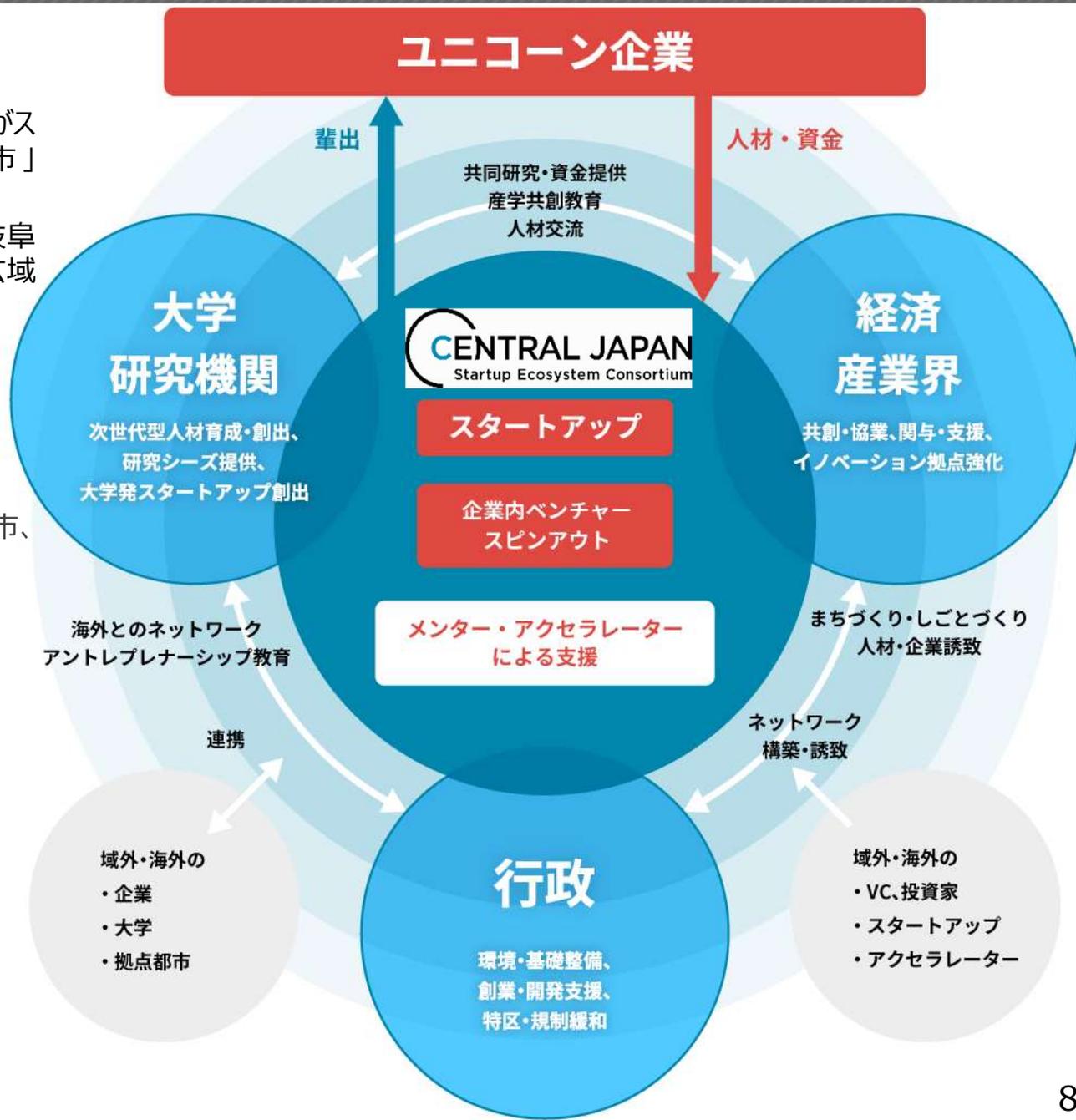
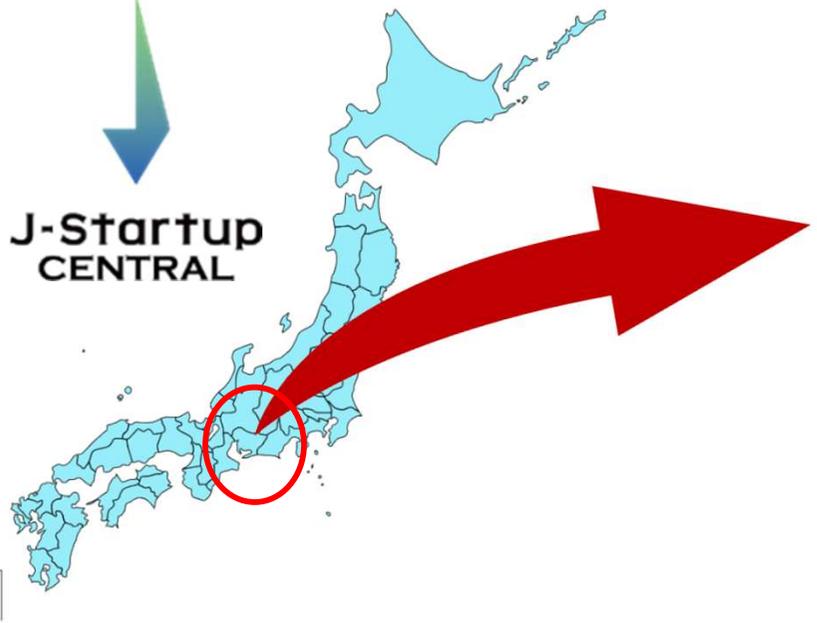
出典：スタートアップマニュアル(翔泳社)、リーンスタートアップ(日経BP社)、起業の科学(日経BP社)、UXグロースモデル(日経BP社)などを参考に愛知県作成

3 戦略の展開：グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト～世界に伍するスタートアップ・エコシステム～

スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市（広域都市圏型）

- **概要** 政府、政府関係機関、民間による集中支援
世界と伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成
- **選定** 内閣府より2020年7月に愛知・名古屋・浜松地域がスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」（2020～2024）に選定。
第1期が満期を迎える2025年6月に三重県、岐阜県、静岡県を加えた「第2期グローバル拠点都市（広域都市圏型）」（2025～2029）として選定。

- ▷ 代表者
中部経済連合会会長
- ▷ 構成組織
中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市、三重県、岐阜県、静岡県始め327企業・団体・大学等



3 戦略の展開：グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト～世界に伍するスタートアップ・エコシステム～

J-Startup CENTRAL

- **概要** スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市の具体的な取組として、当地域の前途有望なスタートアップを強力に支援するプロジェクト「J-Startup CENTRAL」を始動。
- **選定** 2020年度以降、支援対象となるスタートアップ55社を選定（愛知県：39社、岐阜県：3社、静岡県：13社）

J-Startup CENTRALとは

- ▷ グローバルに活躍するスタートアップを創出するために、経済産業省が中心となって2018年6月に立ち上げたプログラム「J-Startup」の地域版として2020年度に開始
- ▷ 愛知県内及び浜松地域に本社のあるスタートアップで、起業後原則20年以内の企業を対象に選定

参加スタートアップへのサポート内容

- ▷ J-Startup全国版(経済産業省等事業)との連携
- ▷ ウェブサイト等での優先的・積極的プロモーション
- ▷ 行政・支援機関等によるビジネスマッチング
- ▷ 「J-Startup CENTRAL」ロゴの使用 等



J-Startup
CENTRAL

「J-Startup CENTRAL」スタートアップ55社 ※五十音順



3 戦略の展開：グローバル・イノベーション都市の中核的プロジェクト～世界に伍するスタートアップ・エコシステム～

サポーター制度

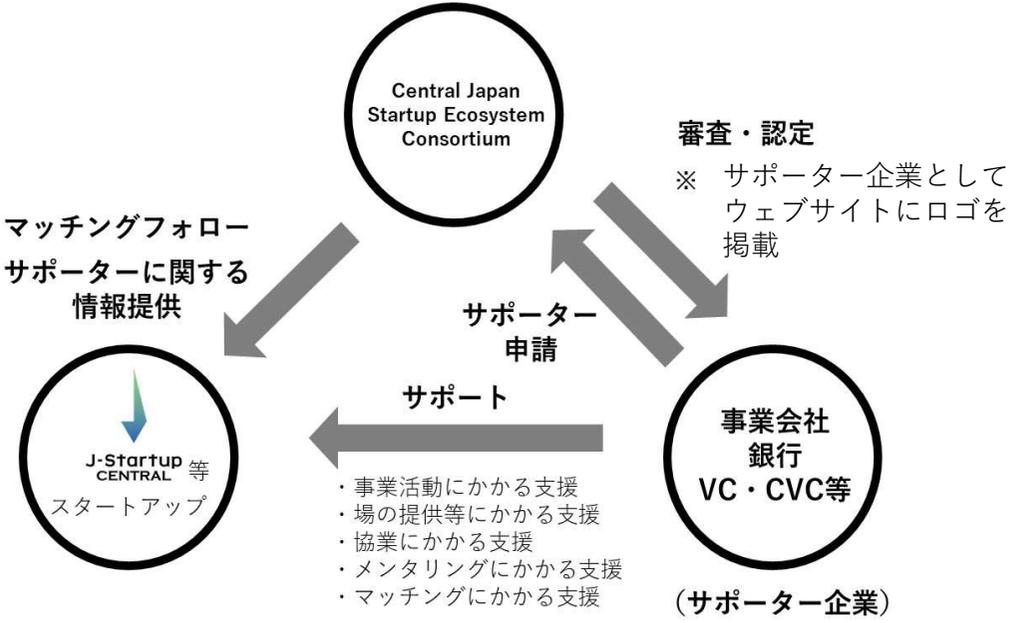
- **概要** 当地域のスタートアップに対して積極的な支援を行う企業や団体を「サポーター企業」として認定し、サポーター企業の見える化、サポート内容の明確化を図るとともに、サポーター企業とスタートアップ間の連携を促進する。
- **対象** 当地域のスタートアップに対し、無償、独自又は新設された優遇サポートを提供可能な法人格を有している企業又は団体

サポーター企業からスタートアップへの支援内容

- ▷ 情報発信、会費割引、人材派遣などの事業活動に係る支援
- ▷ 実証実験フィールドなど場の提供に係る支援
- ▷ スタートアップとの協業に対する相談窓口設置などの協業に係る支援
- ▷ メンタリングに係る支援
- ▷ マッチングに係る支援

サポーター企業一覧(63社) ※五十音順、2025年6月30日現在

- ・ 愛知キャピタル株式会社
- ・ 株式会社あいち銀行
- ・ IPTech特許業務法人
- ・ 株式会社アカデミック・ギャングスター
- ・ アクシスコンサルティング株式会社
- ・ アマゾン ウェブ サービスジャパン合同会社
- ・ 弁理士法人法律事務所amaneku
- ・ アンダーソン・毛利・友常法律事務所
- ・ 外国法共同事業
- ・ イークラウド株式会社
- ・ 合同会社INVENTIO PARTNERS
- ・ 認定NPO法人インデペンデンツクラブ
- ・ 株式会社eiicon
- ・ 弁理士法人瑛彩知的財産事務所
- ・ EXPACT株式会社
- ・ SK弁理士法人
- ・ 株式会社NTTPCコミュニケーションズ
- ・ エバーコネクト株式会社
- ・ 株式会社MTG Ventures
- ・ 株式会社大垣共立銀行
- ・ 岡三証券株式会社
- ・ 株式会社オリентコーポレーション
- ・ 一般財団法人海外投融資情報財団
- ・ ギークス株式会社
- ・ 株式会社グランストーリー
- ・ 独立行政法人工業所有権情報・研修館
- ・ 一般社団法人交通都市型まちづくり研究所
- ・ 株式会社G-gen
- ・ 株式会社ジェイエイシーリクルートメント
- ・ ジャパンベストレスキューシステム株式会社
- ・ 株式会社シリコンバレーベンチャーズ
- ・ 株式会社SUGENA
- ・ 株式会社スタメン
- ・ 株式会社Stayway
- ・ stiripe
- ・ Spready株式会社
- ・ 住友生命保険相互会社
- ・ 法律事務所ZeLo・外国法共同事業
- ・ ゼロイチキャピタル
- ・ 損害保険ジャパン株式会社
- ・ テトラフォース・パートナーズ
- ・ デフイデ株式会社
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社
- ・ 豊田合成株式会社
- ・ 株式会社 名古屋銀行
- ・ 西日本電信電話株式会社
- ・ NOBUNAGAキャピタルビレッジ株式会社
- ・ 株式会社博報堂プロダクツ 中部支社
- ・ 株式会社バローホールディングス
- ・ 株式会社PR TIMES
- ・ 株式会社日比谷花壇
- ・ 株式会社FUNDINNO
- ・ 株式会社ブルータス・コンサルティング
- ・ プロトスター株式会社
- ・ 丸紅株式会社
- ・ 株式会社みずほ銀行
- ・ 三井住友海上火災保険株式会社
- ・ 株式会社三井住友銀行
- ・ 株式会社三菱UFJ銀行
- ・ 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ・ 税理士法人名南経営
- ・ Uniforce株式会社
- ・ 株式会社ローンディール
- ・ 株式会社ソフトウェア有限責任事業組合



全ステークホルダー向け施策

【愛知県】

- Aichi-Startup推進ネットワーク会議
- あいちグローバルイノベーション推進事業
- 次世代モビリティ「e-Palette」
- グローバルコミュニティ形成事業
- STATION Aiパートナー拠点事業
- 知の拠点あいち重点研究プロジェクト
- ディープテック推進事業
- TechGALA Japan
- フランススタートアップ

Aichi
Deeptech
Launchpad

支援機関関連事業
STATION F



【愛知県以外の行政機関】

- MEET UP CHUBU(中経局)
- スタートアップブランド形成事業(名古屋市)
- 共創コミュニティ創出支援事業(豊橋市)
- 豊橋市未来産業創出支援事業補助金(豊橋市)
- 半導体関連事業創出支援補助金・研究シーズ事業化支援事業(豊橋市)
- 労務面からの支援(愛知県雇用労働相談センター)
- 産業イノベーション推進事業(刈谷市)
- 刈谷イノベーション推進プラットフォーム(刈谷市)



【支援機関】

- **サイエンス・クリエイト**
 - ・ 東三河スタートアップ推進協議会の運営
- **ナゴヤイノベーターズガレージ**
 - ・ Nagoya Innovator's Garage
- **JETRO名古屋貿易情報センター**
 - ・ J-Bridge
 - (連携・協業のためのビジネスプラットフォーム)



事業会社向けオープンイノベーション施策

【愛知県】

- あいち産業科学技術総合センター管理運営事業
- オープンイノベーション裾野拡大事業
- ジェトロ、INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM、GNI協議会等のネットワークを活用した相談対応やインセンティブの提供
- シンガポール国立大学連携事業
- グローバルコミュニティ形成事業(再掲)
- 知の拠点あいち重点研究プロジェクト(再掲)
- 中国支援機関連携事業



【愛知県以外の行政機関・支援機関】

- Go-Tech事業(中経局)
- スタートアップ共創促進事業(名古屋市)
- 先進技術社会実証支援事業(名古屋市)
- 岡崎ものづくり共創支援事業、岡崎ビジネスサポートセンター運営事業(岡崎市)
- スタートアップ連携推進事業(刈谷市)
- スタートアップ支援事業(春日井市)
- スタートアップ連携事業(豊川市)
- 市内企業向けDXセミナー(犬山市)
- スタートアップ連携推進事業(知多市)
- オープンイノベーション、ビジネスマッチング支援(一宮商工会議所)
- スタートアップと市内企業の協業支援事業(大府商工会議所)
- オープンイノベーション推進事業(蒲郡商工会議所)
- スタートアップとの共創に関する事業(津島商工会議所)
- 実証事業による支援(ジェトロ)
- ウェルネスバレー推進事業(ウェルネスバレー推進協議会)



国内スタートアップ向けオープンイノベーション施策

【愛知県】

- A2(Aichi-Austin) Innovation Kick-Start Program
- オープンイノベーション裾野拡大事業(再掲)
- 愛知県東京事務所、海外産業情報センター(上海、バンコク)、ジェトロ等と連携した情報発信
- J-Startup CENTRAL(名古屋市との合同)
- シンガポール国立大学連携事業(再掲)
- グローバルコミュニティ形成事業(再掲)
- 知の拠点あいち重点研究プロジェクト(再掲)
- 中国支援機関連携事業(再掲)



【愛知県以外の行政機関】

- 先進技術社会実証支援事業(再掲)(名古屋市)
- スタートアップ連携推進事業(再掲)(刈谷市)
- Urban Innovation TOYOHASHI(豊橋市)
- TOYOHASHI AGRI MEETUP(豊橋市)
- 岡崎ものづくり共創支援事業、岡崎ビジネスサポートセンター運営事業(再掲)(岡崎市)
- イノベーション推進事業(半田市)
- 地元企業とスタートアップとのオープンイノベーション推進事業(半田市)
- Go-Tech事業(中経局)



【支援機関】

- 創業を支援するセミナー・相談事業(あいち産業振興機構)
- ビジネス交流委員会活動(愛知県情報サービス産業協会)
- JICA QUEST 2026(JICA)
- J-Good Tech(中小機構)
- スタートアップ連携・推進事業(犬山商工会議所)
- スタートアップと市内企業の協業支援事業(再掲)(大府商工会議所)
- オープンイノベーション推進事業(再掲)(蒲郡商工会議所)
- 経営専門職学科(名古屋産業大学)



小学生・中学生

高校生

大学生

人材発掘



●●小中高生起業家精神育成事業



●小中高生起業家人材育成事業（名古屋市）

●小中学生バイリンガル・アイデアコンテストを核とした次世代スタートアップ人材育成事業（名古屋国際中学校・高等学校）



- 名市大スタートアップ支援センター(名市大)
- スタートアップ海外企業の職員子女等の教育の場の提供事業(名古屋国際中学校・高等学校)
- スタートアップ支援(中部大)



●●学生向け起業家育成プログラム



- アントレプレナーシップ教育 および起業活動支援(三重大学) 
- Tongaliイノベーターズチャンネル
- Tongaliイノベーターズチャンネル海外編

- Tongaliスクール
- Tongaliビジネスプランコンテスト
- Tongaliアイデアピッチコンテスト
- リーン・ローンチパッド名古屋(Tongali)



- 産学官連携による0→1を生み出す能力開発プログラム(名城大学社会連携センターPLAT)

4 地域総合政策パッケージ

展開方向2 スタートアップのグロースによる新産業の創出・育成 ②

資金調達

総合支援拠点 活動場所提供

人材育成

情報・ノウハウ

Seed
・
Early

- 創業チャレンジを促す様々な取組 (愛知県信用保証協会)
- 創業支援に関する取組 (名古屋市信用保証協会)
- 公庫の創業支援メニュー (日本政策金融公庫)
- スタートアップ共創促進事業 (名古屋市)
- 起業支援金
- エンジェル税制
- 新あいち創造研究開発補助金
- AICHI STARTUP BATTLE
- AICHI NEXT UNICORN LEAGUE
- スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業 (総務省東海総合通信局)
- 豊橋市スタートアップチャレンジ交付金(豊橋市)
- 豊橋市未来産業創出支援事業補助金(再掲)(豊橋市)

- 名古屋医工連携インキュベータ (中小企業基盤整備機構)
 - クリエイション・コア名古屋 (中小企業基盤整備機構)
 - 浜松イノベーションキューブ (中小企業基盤整備機構)
 - メイカーズ・ラボとよはし (サイエンス・クリエイト)
 - 豊橋サイエンスコア (サイエンス・クリエイト)
 - STATION Ai
-
- なごのキャンパス
 - Idea Stoa(名古屋大学)
 - アントレプレナーシップ教育および起業活動支援(再掲)(三重大学)
 - 実証実験エリア提供 (名古屋商科大学)
 - 名古屋市新事業支援センター (名古屋産業振興公社)

- アントレプレナーシップ教育科目の必修化と企業支援(名古屋大学)
 - GIRAFFES JAPAN(中経局)
 - 東三河ビジネスプランコンテスト (サイエンス・クリエイト)
 - CNBベンチャー大賞 (中部ニュービジネス協議会、名古屋商工会議所)
 - 起業家等の海外派遣プログラム-J-StarX-(ジェトロ)
 - J-Startup CENTRAL (再掲)
 - あいちスタートアップビザ
 - 社会人向け起業家育成プログラム
-
- 半導体関連事業創出支援補助金・研究シーズ事業化支援事業 (再掲)(豊橋市)

- スタートアップいなざわ(稲沢市)
- 宇宙ビジネス相談デスク「宙サポ」 (サイエンス・クリエイト)
- Startup Garage (サイエンス・クリエイト)
- スタートアップ・エコシステム共創プログラム GAPファンドプログラム(Tongali)
- 水素・アンモニアの社会実装推進事業
- あいちグローバルイノベーション推進事業(再掲)
- スタートアップダイバーシティ推進事業
- TOYOHASHI AGRICULTURE MEET UP(再掲)(豊橋市)
- 東三河スタートアップ推進協議会の運営(再掲) (サイエンス・クリエイト)
- ICTスタートアップリーグ (総務省東海総合通信局)
- Go-Tech(中経局)(再掲)

Expansion
 .
 Later

- スタートアップ挑戦支援事業
 (中小企業基盤整備機構)
- 成長期待型投資
 (名古屋中小企業投資育成株式会社)

- 知の拠点あいち重点研究プロジェクト(再掲)



- IT・スタートアップ支援(瀬戸市)
- FASTAR(中小機構)



- ● A2 Innovation
 Kick-Start Program(再掲)



- グローバルコミュニティ形成事業(再掲)

- シンガポール国立大学
 連携事業(再掲)



- 海外テックカンファレンスへの
 スタートアップ参加支援(ジェトロ)

- 中小企業SDGs ビジネス支援事業(JICA Biz)

All

- あいちスタートアップ
 制度融資
- ● ● ディープテック推進事業(再掲)
- ● ● 次世代モビリティ
 「e-Palette」(再掲)
- ベンチャー企業やグローバル
 企業の労務面からの支援(再掲)
 (愛知県雇用労働センター)
- ● 新あいち創造産業立地補助金
 (タイプC)
- ● TechGALA Japan(再掲)

- JICA QUEST 2026
 (再掲)(JICA)

- ものづくり創造拠点
 SENTAN(豊田市) 

- ナゴヤイノベーションズ
 ガレージ

- 共創コミュニティ
 創出支援事業(再掲)(豊橋市)

- 藤田医科大における
 スタートアップ支援(藤田医科大)

- スタートアップ人材裾野拡大事業

- スタートアップ公共調達促
 進事業

- 国内スタートアップ誘致PR
- Aichi-Startup
 推進ネットワーク会議(再掲)

- グローバル・アクセラ
 レーション・ハブ(ジェトロ)

- Global Startup Acceleration
 Program(ジェトロ)

- スタートアップブランド
 形成事業(再掲)(名古屋市)

- Urban Innovation
 TOYOHASHI(再掲)(豊橋市)

展開方向3 革新事業の創造による社会的課題の解決と地域の活性化【36】

【愛知県】

- あいち環境イノベーションプロジェクト
- Aichi-Startup推進ネットワーク会議(再掲)
- AICHI STARTUP BATTLE(再掲)
- あいちスポーツイノベーションプロジェクト
- あいちデジタルヘルスプロジェクト
- AICHI NEXT UNICORN LEAGUE(再掲)
- あいち農業イノベーションプロジェクト
- あいちモビリティイノベーションプロジェクト
- 革新事業創造事業費補助金
- グローバルコミュニティ形成事業(再掲)
- 革新事業創造提案プラットフォーム(A-IDEA)
- シンガポール国立大学連携事業(再掲)
- スタートアップ活用まちづくり支援事業
- 知の拠点あいち重点研究プロジェクト(再掲)
- TechGALA Japan(再掲)



【愛知県以外の行政機関・支援機関】

- スタートアップブランド形成事業(再掲)(名古屋市)
- Urban Innovation TOYOHASHI(再掲)(豊橋市)
- 共創コミュニティ創出支援事業(再掲)(豊橋市)
- 豊橋市スタートアップチャレンジ交付金(再掲)(豊橋市)
- TOYOHASHI AGRI MEETUP(再掲)(豊橋市)
- 豊橋市未来産業創出支援事業補助金(再掲)(豊橋市)
- 半導体関連事業創出支援補助金・研究シーズ事業化支援事業(再掲)(豊橋市)
- イノベーション推進事業(再掲)(半田市)
- 地元企業とスタートアップとのオープンイノベーション推進事業(再掲)(半田市)
- 市内企業向けDXセミナー(再掲)(犬山市)
- スタートアップ連携推進事業(再掲)(知多市)
- 共創のまちづくり事業(北名古屋市)
- ベンチャー企業やグローバル企業の労務面からの支援(再掲)(愛知県雇用労働相談センター)
- チームNITEによるイノベーション支援(製品評価技術基盤機構)
- JICA QUEST 2026(再掲)(JICA)
- デジタル変革&イノベーション(名商大ビジネススクール)
- 東三河スタートアップ推進協議会の運営(再掲)(サイエンス・クリエイト)
- ウェルネスバレー推進事業(再掲)(ウェルネスバレー推進協議会)



展開方向 4 事業承継・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進【20】

【愛知県】

- Aichi-Startup推進ネットワーク会議(再掲)
- あいちスタートアップ創業支援事業費補助金(起業支援金)(再掲)
- 中小企業後継者育成事業
- TechGALA Japan(再掲)



【愛知県以外の行政機関・支援機関】

- スタートアップブランド形成事業(再掲)(名古屋市)
- 共創コミュニティ創出支援事業(再掲)(豊橋市)
- 豊橋市スタートアップチャレンジ交付金(再掲)(豊橋市)
- 豊橋市未来産業創出支援事業補助金(再掲)(豊橋市)
- 刈谷イノベーション推進プラットフォーム(再掲)(刈谷市)
- 産業イノベーション推進事業(再掲)(刈谷市)
- ベンチャー企業やグローバル企業の労務面からの支援(再掲)(愛知県雇用労働相談センター)
- 岡崎ものづくり共創支援事業、岡崎ビジネスサポートセンター運営事業(再掲)(岡崎市)
- スタートアップいなざわ(再掲)(稲沢市)
- スタートアップ連携・推進事業(再掲)(犬山商工会議所)
- スタートアップとの共創に関する支援(再掲)(津島商工会議所)
- 後継者育成塾(あいち産業振興機構)
- 事業承継マネージャー事業(あいち産業振興機構)
- 創業を支援するセミナー・相談事業(再掲)(あいち産業振興機構)
- アントレセンタープログラム(名古屋商科大学ビジネススクール)
- 東三河スタートアップ推進協議会の運営(再掲)(サイエンス・クリエイト)



4 地域総合政策パッケージ

展開方向5 グローバル事業の展開によるエコシステムの強化【25】

【愛知県】

- A2(Aichi-Austin)Innovation Kick-Start Program(再掲)
- あいちグローバルイノベーション推進事業(再掲)
- Aichi-Startup推進ネットワーク会議(再掲)
- グローバルコミュニティ形成事業(再掲)
- 国際ビジネスセミナー
- シンガポール国立大学連携事業(再掲)
- 中国支援機関連携事業(再掲)
- ディープテック推進事業(再掲)
- TechGALA Japan(再掲)



施策数

展開方向 1	56
展開方向 2	90
展開方向 3	36
展開方向 4	20
展開方向 5	25
合計	227

愛知県 80事業

【愛知県以外の行政機関・支援機関】

- 海外テックカンファレンスへのスタートアップ参加支援(再掲)(ジェトロ)
- 起業家等の海外派遣プログラム-J-StarX-(再掲)(ジェトロ)
- グローバル・アクセラレーション・ハブ(GAH)(再掲)(ジェトロ)
- Global Startup Acceleration Program (GSAP) (再掲)(ジェトロ)
- J-Bridge(連携・協業のためのビジネスプラットフォーム)(再掲)(ジェトロ)
- 実証事業(パイロットプロジェクト支援)による支援(再掲)(ジェトロ)
- スタートアップブランド形成事業(再掲)(名古屋市)
- ベンチャーやグローバル企業の労務面からの支援(再掲)(県雇用労働センター)
- 中小企業SDGs ビジネス支援事業(再掲)(JICA Biz)
- 国際ワークショップ等への登壇機会の提供(国際連合地域開発センター)
- Tongaliイノベーターズチャンネル 海外編(再掲)

※¹ 一つの事業の中で複数のプログラムを実施している場合、別の事業としてカウントしている。

※² 展開方向1については、施策の対象者それぞれのページで重複を許す形で施策を再掲しているため、掲載している事業の数は、実際の合計値である56よりも多くなっている。

2026予算
536,381千円

STATION Aiプロジェクト

2024年10月 グランドオープン

- ・事業手法 PFI(BTコンセッション方式)
- ・事業者 ソフトバンク(株)が設立したSPC「STATION Ai(株)」
- ・設置場所 名古屋市昭和区鶴舞
- ・延床面積 約23,600㎡(地上7階) **[日本最大]**
- ・会員数 スタートアップ : 約680社
パートナー企業 : 約360社



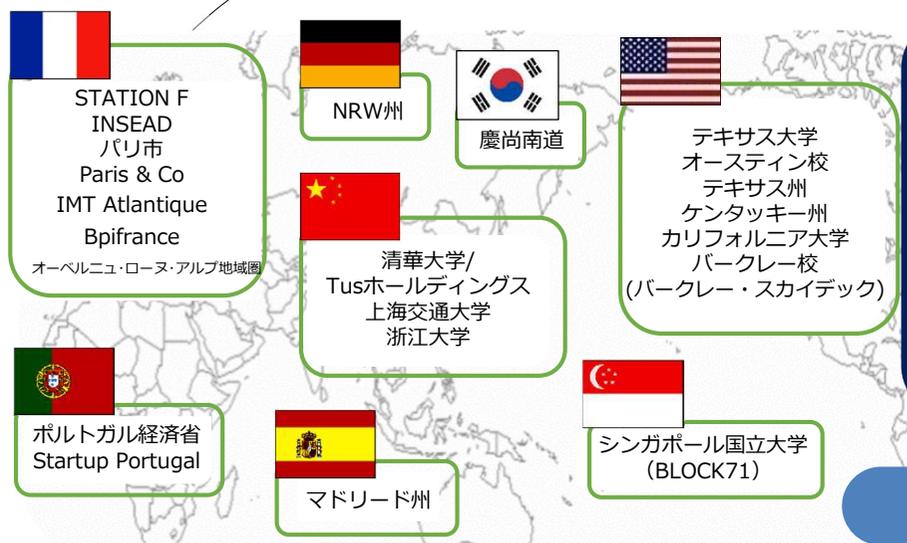
STATION Ai

◆機能構成

高層階	宿泊施設、フィットネスジム
	オフィス (スタートアップ・パートナー企業・海外スタートアップ支援機関向け)
低層階	あいち創業館、テックラボ 託児施設、イベントスペース 会議室、カフェ・レストラン、コンビニ

海外の先進スタートアップ・エコシステム

愛知県が連携する8か国20機関のSU支援機関・大学



スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市 (広域都市圏型)

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

グローバル拠点都市(広域都市圏型)に選定。(2025年6月)

グローバル・イノベーション都市の実現

あいちスタートアップ・エコシステム

2018年4月にAichi-StartupNW会議設立
(メンバーは2026年2月28日時点373者)



地域総合戦略
「Aichi-Startup戦略」

STATION Ai会員数

スタートアップ

約680社

パートナー企業

約360社

スタートアップとパートナー企業の
オープンイノベーションに最注力

革新的な発想力・技術力を
持ったスタートアップ

愛知県の産業と親和性の高いSUの集積



国内外のパートナー企業



事業会社



VC・金融機関

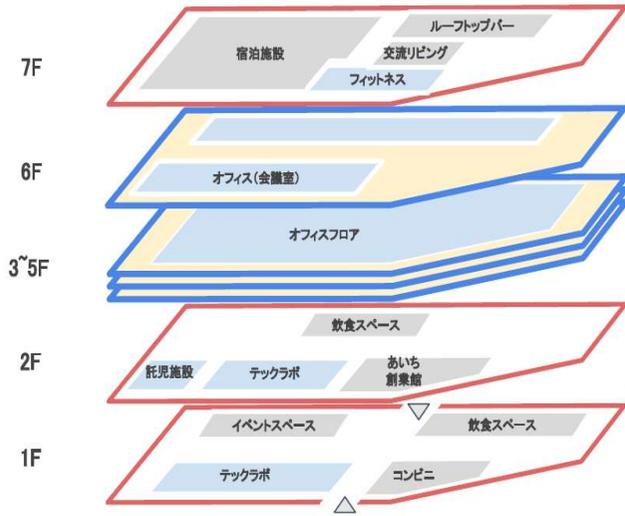


大学・研究機関



自治体

施設概要



・会員専用ゾーン

スタートアップ・企業が利用

・一般開放ゾーン

スタートアップ・企業だけでなく、学生や近隣の住民が利用

© STP

“Autonomous City in STATION Ai”

- STATION Aiのなかに進化し続ける街を作る -

従来のシェアオフィス

- ・各ゾーン領域が明確に分離
- ・フロアによるゾーン分け
- ・最短距離の動線

STATION Ai

- ・各ゾーン領域を曖昧にする
- ・上下階の関わりを作る空間
- ・状況やニーズによって可変する

入居者とともに築き上げる余白を残し、時代やニーズに合わせて進化する場を創出する

国内屈指のロボットフレンドリー環境の実現



建設工程にスタートアップの技術を活用



配筋・配管検査の検証をデジタルツインプラットフォーム「TRACNITY」による3Dモデル化でコスト抑制。



フィットネスジムの運営に防犯カメラを活用したAI画像解析ソリューションを提供。



DXソリューションを用いて次世代のホテル宿泊体験を実現。



唯一無二の存在感を放つ異彩作家達のアート作品を、施設内各所へ提供。



植物廃棄物から生まれたサステナブルな家具プロダクトをSTATION Ai内に設置。

様々なニーズに対応可能な座席プランを用意

コワーキング席

固定席

個室席



フリーアドレスで自由な利用



新たな出会いと交流を生む
開かれた専有スペース



拠点として利用可能な
専有スペース

スタートアップの成長に必要な 支援メニューを提供

会員間の
マッチング支援

資金調達
ファンド出資

コミュニティマネージャーが
適切な支援メニューを紹介

事業相談
グロース支援

採用・人材支援

越境の最大地点へ。

STATION Ai



オープンイノベーション
国内外のスタートアップ × パートナー企業



グローバル連携

STATION Ai
コミュニティ



鶴舞地域への貢献



メンバー同士の
交流イベント

STATION Ai がハブとなり スタートアップとの協業を創出

- **目的** STATION Aiに集うスタートアップに勇気や励みを与え、施設の賑わいや彩りを創出する。施設を見学等で訪れる子どもたちに、将来の起業家としての夢を育んでもらう。
- **内容** 起業家に関心を持ってもらえるよう、映像やSTATION Aiにふさわしい先進的なデジタル技術（メディアテーブル、プロジェクションマッピング、生成AI）を活用し、4つのゾーンに分けて、産業のルーツや本県ゆかりの創業者・経営者（企業家）の業績をわかりやすく伝える。

②産業のルーツゾーン

あいちの産業のルーツを紹介する映像や、関連する企業・製品群を紹介

④探求・交流ゾーン

イベントスペースやライブラリー

③偉人との出会いゾーン

デジタル検索ツールを活用して企業家のエピソードや生み出した製品などを紹介

①偉人のトイカケゾーン

企業家の名言が刻まれた壁

< 出会いのリレーションテーブル >



大型の情報端末。
テーブルの中央から流れてくる「アイコン」にタッチすると「情報画面」が開いて、情報を得られる。

展示対象者（本県ゆかりの創業者・経営者 60名）

十五代 伊藤次郎左衛門祐民(J.フロントリテイリング、三菱UFJ銀行)大隈栄一(オークマ)、奥田正香(日本車輛製造、東邦ガス)、蟹江一太郎(カゴメ)、初代 神野金之助(名古屋鉄道)、神谷傳兵衛(オエノンホールディングス)、越原春子(学校法人越原学園)、豊田喜一郎(トヨタ自動車)、豊田佐吉(豊田自動織機)、盛田昭夫(ソニーグループ)、六代目 森村市左衛門(リタケ)、安井正義・実一(ブラザー工業)、山崎照幸(ヤマザキマザック) 等

e-Paletteの活用（STATION Ai環境強化事業）

- **目的**：次世代モビリティ「e-Palette」を活用し、STATION Aiに入居しているスタートアップ等による柔軟なアイデアや革新的な技術から、新たなアイデアやモビリティサービスの創出を目指す。
- **内容**：名古屋駅とSTATION Aiを結ぶ定期運行を実施することにより、STATION Aiの利便性と先進性を対外的に広くPRするほか、STATION Ai会員から「e-Palette」を活用したビジネスプランを募り、MaaSにつながる社会に向けた空間ソリューションを創出することを目的とした実証実験を実施。



e-Palette

実施内容

①名古屋駅とSTATION Aiを結ぶ定期運行

【2026年度の予定】（2026年4月開始予定）

- ・ 運行日時：毎週月曜日から金曜日までの5日間
※祝日、年末年始（12月29日から1月3日）除く
- ・ 運行形態：手動運転による運行
- ・ 運行経路：STATION Aiと名古屋駅を結ぶルート



e-Palette定期運行の様子

②「e-Palette」を活用した実証実験

【2026年度の予定】

- ・ 「e-Palette」を活用したアイデアの募集（6月頃）
- ・ 実証実験の選定（7月頃）
- ・ 「e-Palette」を活用した実証実験の実施（8月以降）

2025年度
実績

実証実験

3件実施

- 第1弾 株式会社博報堂プロダクツ（2025年12月）
- 第2弾 Crystal株式会社（2026年1月）
- 第3弾 株式会社パワーウェーブ（2026年3月）



実証実験第1弾

2026予算
62,361千円

国内（県内外）パートナー・エコシステム①

STATION Aiパートナー拠点

- 目的 STATION Aiを核とした、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステム形成
- 内容 ① 県内各地域にSTATION Aiと相互に連携・協力するSTATION Aiパートナー拠点の設立を促進
- ② 各地域でスタートアップ・エコシステムが自立的に発展できるように、スタートアップ支援に積極的に取り組む地域を支援する統括マネージャーを配置



STATION Aiパートナー拠点とは

- 各地域の特性や強みを活かして、スタートアップを起爆剤としたイノベーション創出に主体的に取り組む機関等
- STATION Aiと相互に連携・協力してネットワークの構築を図る地域のハブ

STATION Aiパートナー拠点との連携内容

- STATION Aiが提供できるリソース例
 - ・ スタートアップ支援プログラムの提供
 - ・ STATION Aiのネットワークを活かしたスタートアップ、支援機関等との交流や誘引
- 各地域が提供できるリソース例
 - ・ 地元企業を事業共創パートナーとして紹介
 - ・ 実証実験フィールドの提供 等

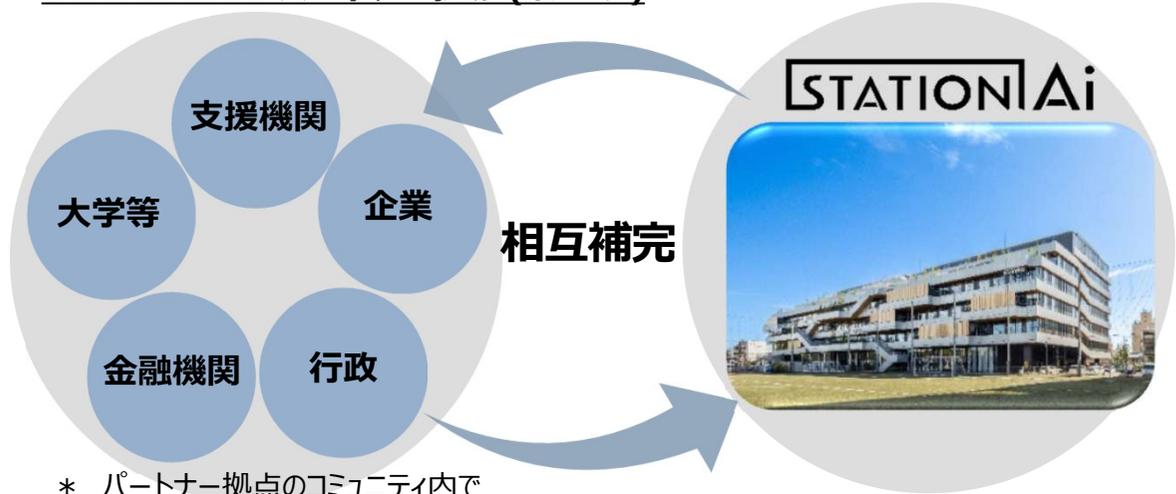
統括マネージャーによる支援内容の例

「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」



県内の自治体や支援機関を対象とした、スタートアップ支援の実践機会を提供するプログラム。

STATION Ai パートナー拠点(イメージ)



* パートナー拠点のコミュニティ内で関与が期待される地域のプレイヤー

「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」参加団体

47 団体 2024年度 62 団体 2025年度

これまでの実績

パートナー拠点 **4** 拠点
 2021年度 東三河スタートアップ推進協議会
 2023年度 ウェルネスバレー推進協議会
 2024年度 刈谷イノベーション推進プラットフォーム
 2025年度 尾張共創コンソーシアム

国内（県内外）パートナー・エコシステム②

国際イノベーション都市の実現（東京都との連携・協力に関する協定締結）

- **目的** オープンイノベーションによる革新的なビジネスモデルを次々と生み出し、世界中から多くの投資家や企業を誘引する「国際イノベーション都市」の形成を強かに推進
- **内容** スタートアップ支援やイノベーション創出の分野を筆頭に、脱炭素社会の実現、大学・研究機関の連携、人口減少・少子化対策、インバウンド・観光、文化、芸術、スポーツなど、幅広い分野で連携・協力

連携の内容

▶ 「STATION Ai」・「TIB(Tokyo Innovation Base)」の連携

- ・ 各拠点イベントの相互開催

▶ 「TechGALA Japan」・「SusHi Tech Tokyo」の連携

- ・ 相互出展、イベント間の告知協力

▶ 企業間マッチング

- ・ 日本への事業展開を目指す海外スタートアップの情報を相互共有し、愛知県内・東京都内の事業会社とのマッチング

▶ イノベーションプロジェクトの創出支援に関する知見・ノウハウの共有

- ・ 愛知県及び東京都が実施している支援プログラムの告知協力、プログラムへの参加促進等

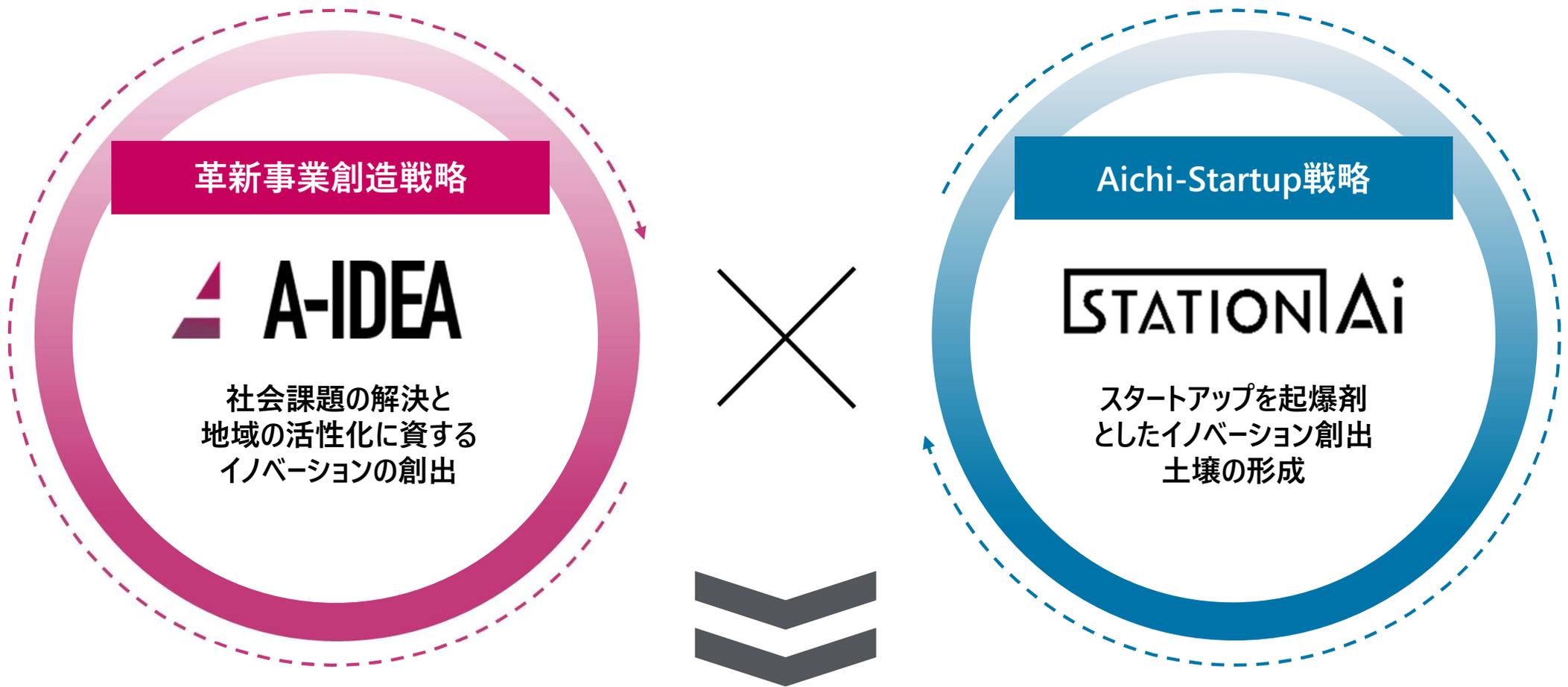


協定締結式
(2024年12月17日)

国際イノベーション都市



- STATION Aiプロジェクトを中核とする「Aichi-Startup戦略」の取組をさらに発展・強化させ、愛知発のイノベーションを絶え間なく創出していくための仕組みとして、2022年12月に「革新事業創造戦略」を策定。2026年4月に改定（ver2.0）
- これら2つの戦略を両輪として、国際イノベーション都市への飛躍を目指す取組を展開

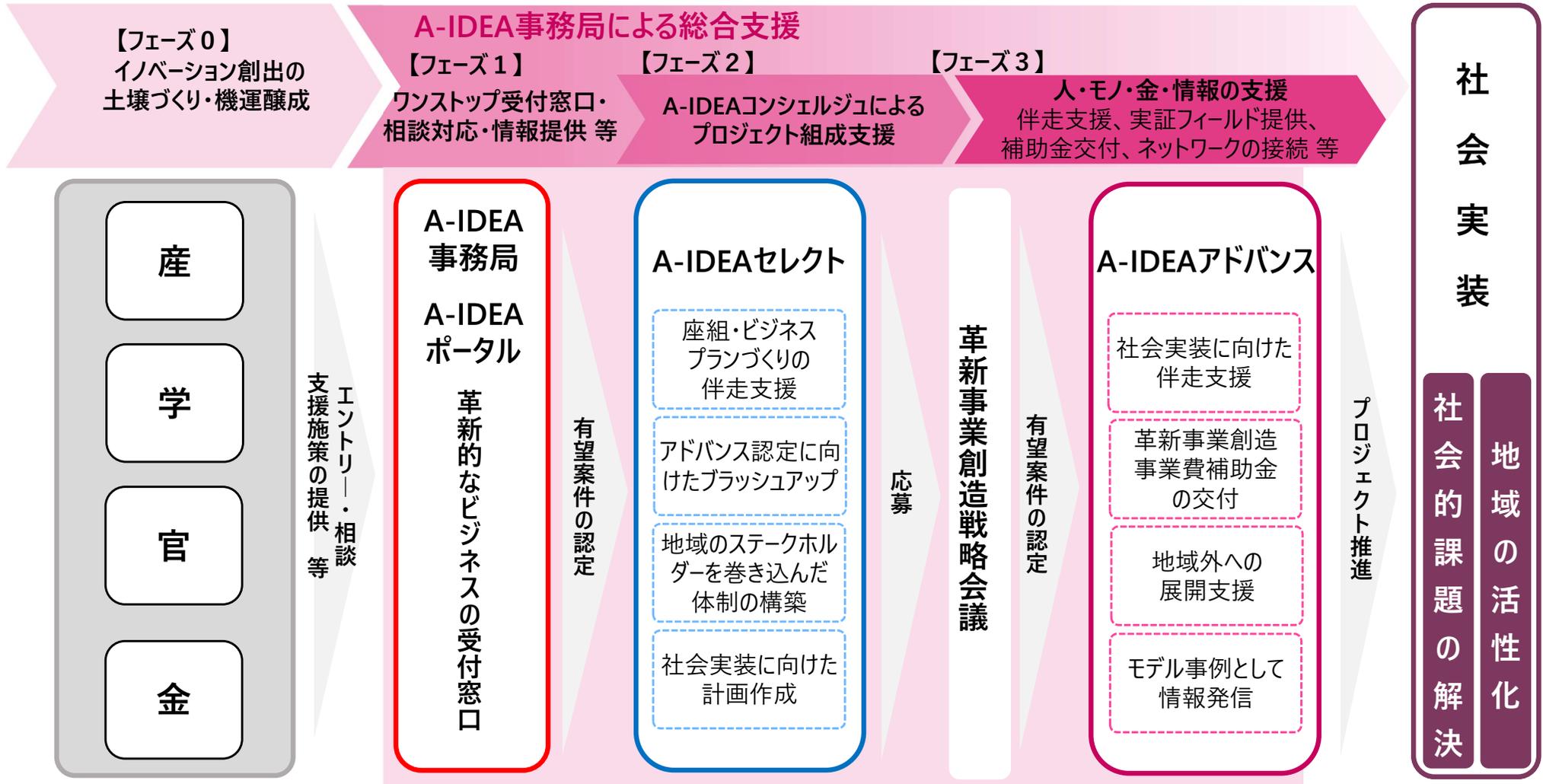


国際イノベーション都市への飛躍

革新的なビジネスの社会実装を支援するフレームワーク

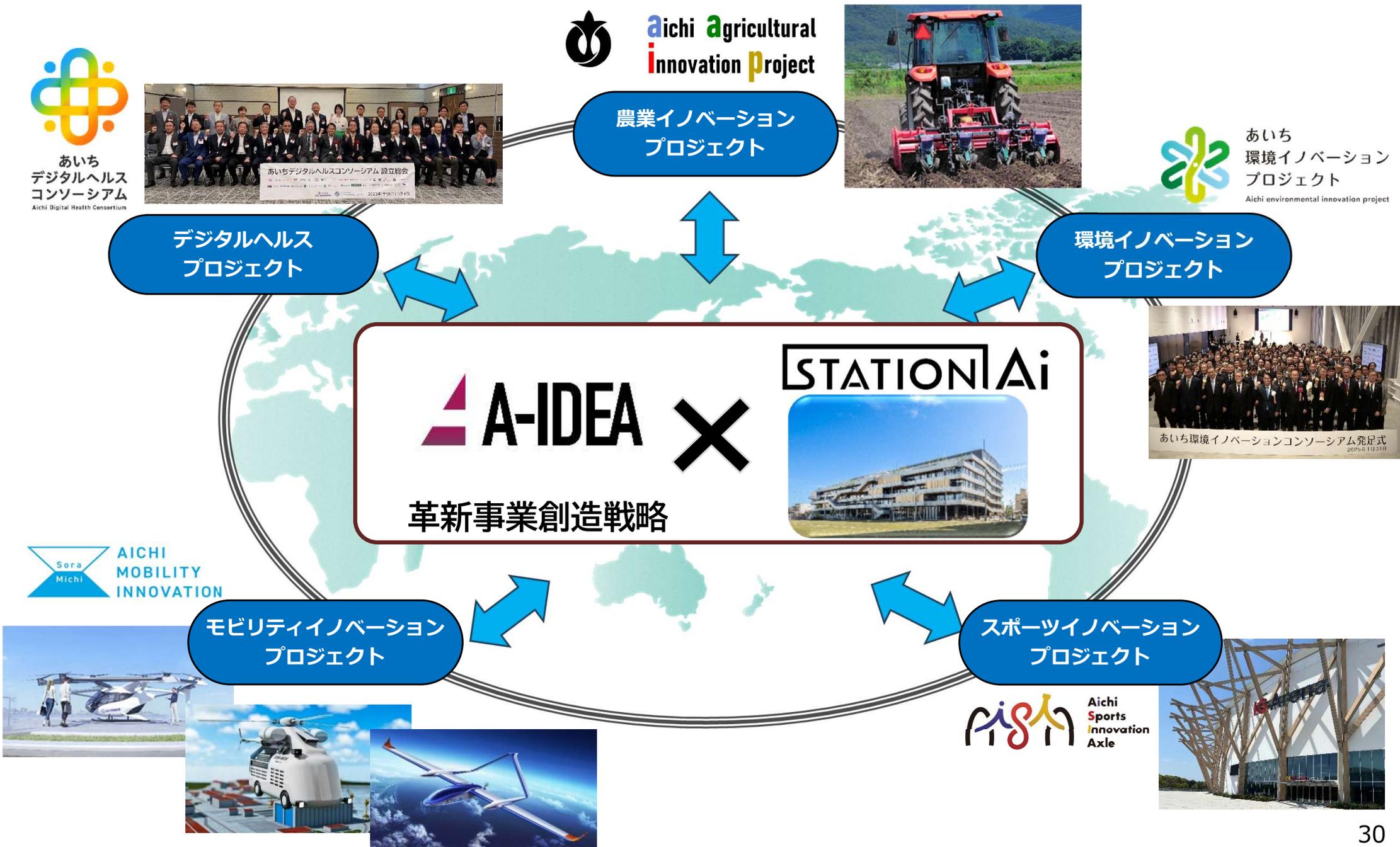
- 「革新事業創造戦略」に基づき、社会課題の解決と地域の活性化に資するイノベーション（ソーシャルイノベーション）の創出を目指す
- STATION Aiに設置するA-IDEA事務局を中心として、ソーシャルイノベーションを創出する革新的なビジネスにつながる案件の発掘から、座組づくり、実証のサポート、ビジネスモデルの磨き上げなど、社会実装までを一気通貫で支援

革新事業創造プラットフォーム「A-IDEA」



ソーシャルイノベーション創出促進の取組

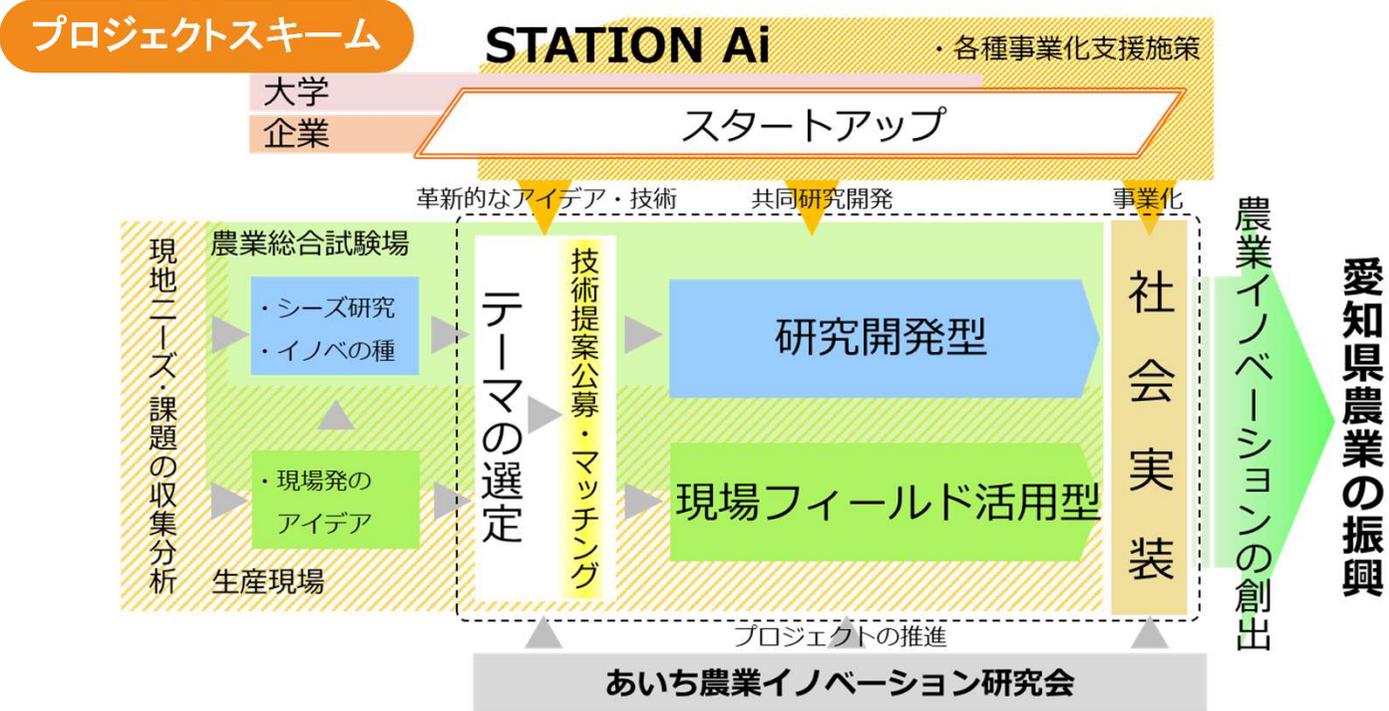
社会的な課題の解決を図る5つのイノベーションプロジェクト



ソーシャルイノベーション創出促進の取組

① あいち農業イノベーションプロジェクト

- 農業分野の様々な課題に対応するための農業イノベーション創出に取り組む
〔研究開発型〕スタートアップ等、大学、農業総合試験場の連携を強化し、共同研究開発や成果の社会実装を推進
〔現場フィールド活用型〕普及指導員がスタートアップ等と産地を結び、生産現場のほ場で新技術の開発と導入を推進



あいち農業イノベーションサミット2026



大豆生育を大きく改善する高速畝立播種機

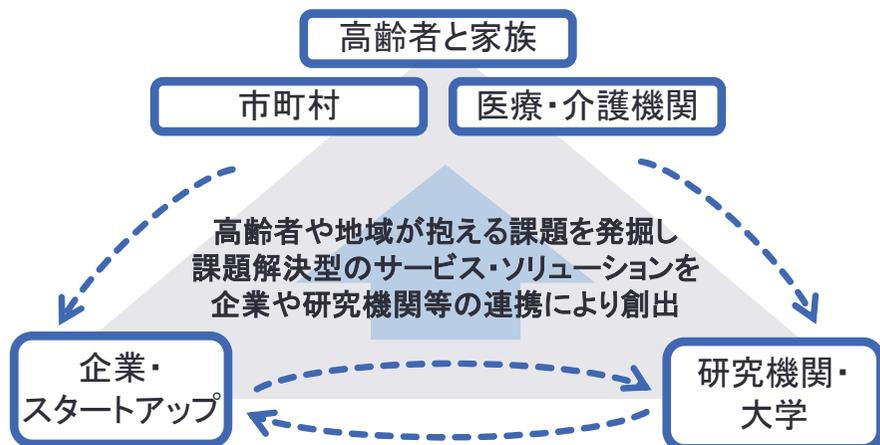
社会実装を果たしたプロジェクトの主な成果		スタートアップ等
研究開発型	肉体的な負担軽減のための農業用アシストスーツ	(株)ジェイテクト
	生産者のこだわりなどをPRする販売促進サービス	ウォーターセル(株)
	湿害を回避できる大豆の高速畝立播種機	鋤柄農機(株)
	簡易な核酸濃縮技術(県開発)を用いた環境核酸濃縮キット	(株)ニッポンジーン
現場型	バラ栽培においてIPM技術※を推進するUV-Bランプ用アタッチメント	(株)新美利一鉄工所
	キュウリのつる下げ作業の省力化に寄与する器具	(有)杉浦発条

※農業に頼らない病害虫防除技術。IPM技術の1つであるUV-B照射は植物体の防御関連遺伝子を発現させ病害抵抗性を誘導する。

② あいちデジタルヘルスプロジェクト

- 超高齢社会の危機の克服に向け、デジタル技術の活用と産学官金の連携により、「健康寿命の延伸」と「QOLの維持・向上」に貢献する各種サービス・ソリューションの創出を目指す
- 本プロジェクトの推進母体として、2023年9月、33団体が発起人となり、「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」を設立
2026年2月末日現在、98団体が参画

あいちデジタルヘルスコンソーシアムの役割



創出を目指すサービス・ソリューションの例

PHRを活用した予防運動プログラム

- ◆ アプリから取得する歩数データと、対面による健康アドバイスを組み合わせ、フレイル進行予防に資する運動プログラムを提供



デジタル食事改善プログラム

- ◆ 高齢者も使えるLINEを活用し、フレイル予防に重要な栄養素をしっかり摂取する食習慣をサポートする仕組みを構築



あいちデジタルヘルスコンソーシアム会員(98者)

一般会員	民間企業(35) (株)あいち銀行、味の素(株)、Arteryex(株)、(株)エクシング、エーザイ(株)、(株)emotivE、ジョージ・アンド・ショーン(株)、(株)スギ薬局、ソフトバンク(株)、中部電力(株)、東京海上日動火災保険(株)、TOPPAN(株)、豊田通商(株)、(株)名古屋銀行、名古屋鉄道(株)、Hubbit(株)、(株)ヘルスケアシステムズ、(株)八神製作所、ほか
特別会員	自治体(21) 愛知県、豊橋市、一宮市、半田市、春日井市、刈谷市、豊田市、蒲郡市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、豊明市、北名古屋市、あま市、長久手市、東浦町、美浜町、武豊町
	研究機関・大学等(11) (国研)国立長寿医療研究センター、(医)豊田会、(一社)豊田加茂歯科医師会、(大)東海国立大学機構 名古屋大学、(学)藤田学園 藤田医科大学、ほか

上記他コミュニティ会員(31者)、オブザーバー:厚生労働省 老健局

ソーシャルイノベーション創出促進の取組

③ あいち環境イノベーションプロジェクト

- カーボンニュートラルの実現、サーキュラーエコノミーへの転換、ネイチャーポジティブの達成といった環境分野の課題解決に向け、全国のスタートアップ等と連携し、愛知発の環境イノベーションを創出・実装
- 「あいち環境イノベーションコンソーシアム」を推進母体として、採択プロジェクトの伴走支援や実証実験、新たな革新的プロジェクトの創出などの取組を実施

<採択プロジェクト>

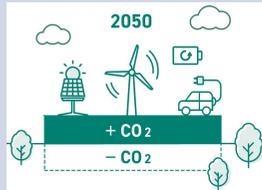
2024年度採択

2025年度採択

環境課題

カーボンニュートラルの実現

産業、業務、家庭、運輸など、あらゆる分野の脱炭素化を強かに推進



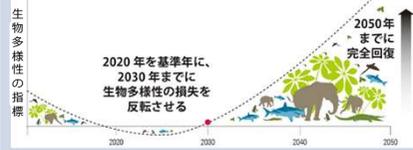
サーキュラーエコノミーへの転換

設計・生産・利用等の各段階で、資源投入量や廃棄物量を減らしつつ価値を生み出す循環型の経済活動への移行を促進



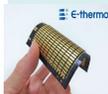
ネイチャーポジティブの達成

今ある自然を守り回復しつつ、より自然が豊かになる取組を促進



エネルギーの創出・利用

熱を直接電気に変換する熱発電システム実装



(株)Eサーモジェネック

次世代型バイオガス発電システム導入



(株)豊橋バイオマスソリューションズ

サーキュラーエコノミー型ビジネス

リサイクル困難な炭素繊維強化プラスチックリサイクル



(株)fff fortississimo

100%植物廃棄物由来内装材の製造・リメイク



(株)Spacewasp

使用済み紙おむつのマテリアルリサイクル

サハシ特殊鋼(株)



[刈谷記念病院におけるリサイクル実証(2025年度)]

AIによるごみの分別・運搬ロボットの開発・実装

(株)Aladdin

○あいち環境イノベーションコンソーシアム

■設立: 2025年1月31日

■会員: 民間企業、大学、金融機関、行政機関、採択スタートアップ等 計59団体(2026年1月)

CO₂吸収・利用

海面最終処分場におけるCO₂回収・固定化



[衣浦港3号地処分場CO₂固定実証(2025年度)]

自然の価値の見える化

ドローン・AIによる森林モニタリングシステム構築



[角文(株)の保有森林における森林計測実証(2025年度)]

持続可能社会の実現

カーボンクレジットによる再エネ・省エネ投資促進 (株)バイウル

その他環境課題

CO₂を排出しない食品残渣等処理システム実装



(株)クスイ

バイオテクノロジーを活用した油脂分解システム実装

(株)フレンドマイクロブ



愛知県



大学



地元企業



環境イノベーションの創出・実装



あいち環境イノベーションコンソーシアム
Aichi environmental innovation consortium



あいち環境イノベーションコンソーシアム発足式
2025年1月31日

ソーシャルイノベーション創出促進の取組

④ あいちモビリティイノベーションプロジェクト

- ドローン・eVTOL（空飛ぶクルマ）・自動運転車が同時に安全に制御され、人やモノの移動に「境界」がなくなった新しいモビリティ社会の構築を図る
- 新しいモビリティ社会の実現に向けた革新的ビジネスモデルの創出を図り、その社会実装を通じて社会的課題（物流クライシス、人の移動の多様化・最適化、災害対応）を解決する
- 自動車・航空宇宙産業の世界的な集積地である強みを生かし、次世代モビリティの基幹産業化を図る

プロジェクトの目指す姿

4つの領域（空と人、空とモノ、道と人、道とモノ）をつなげ、多様なモビリティを最適化

空

愛知発のモビリティ

飛行機・ヘリコプター

自動管制による運航管理

災害時利活用

自動車・鉄道

道



モノの移動

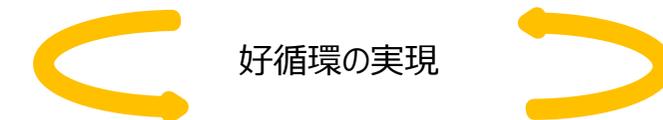


人の移動

柱1 空と道がつながる新しいモビリティ社会の実現 (需要の創出)

革新的ビジネスモデルの国内外への横展開による需要の拡大

好循環の実現



柱2 次世代空モビリティ産業の基幹産業化 (供給力の強化)

国内外の需要を愛知県内に取り込み、産業拠点としての機能を強化

推進体制



愛知県、民間事業者6社
※プロジェクトの立ち上げに関する基本合意にいたり、連携協定を締結(2023年5月)
※(株)Prodrone、(株)ジェイテクト、名古屋鉄道(株)、(株)SkyDrive、(株)テラ・ラボ、VFR(株)

ソーシャルイノベーション創出促進の取組

⑤ あいちスポーツイノベーションプロジェクト

- STATION Aiのオープン、IGアリーナの開業、アジア・アジアパシフィック競技大会の開催を起爆剤として、革新的な事業・新サービスの創出や県内外への展開に取り組むことで、スポーツの成長産業化、スポーツを通じた地域活性化を目指す
- プロジェクトの推進母体として、「あいちスポーツイノベーションコンソーシアムAiSIA（アイシア）」を設立（2024年6月）

コンソーシアムの活動内容

コンソーシアムでは、メンバー相互間で連携しながら、愛知県のスポーツから新たなイノベーションを巻き起こしていくために、3つの柱を推進する。



【柱①】
スポーツ産業をささえる
人材の育成

主な取組

- ・ スポーツビジネス人材育成講座を開催
- ・ 各大学が行うスポーツマネジメント人材育成の取組



【柱②】
アスリート・スポーツチーム
の価値向上

主な取組

- ・ スポーツチームの課題解決につながる取組を募集・選定・支援する「AiSIAアクセラレーションプログラム」を実施
- ・ 障害者も参加可能なスポーツコンテンツの実証



【柱③】
スポーツと
他産業の融合

主な取組

- ・ スポーツと他産業の共創により、地域課題の解決を図る事業をモデル事業として実施／「AiSIAアクセラレーションプログラム」として支援
- ・ スポーツテックコンテンツを活用して県民が幅広くスポーツにふれる機会を創出



(AiSIAロゴマーク)

<コンソーシアム参画団体 内訳>

- ・ スポーツチーム(16)
- ・ 競技団体(5)
- ・ 教育機関(6)
- ・ 経済団体・支援機関・観光団体等(6)
- ・ 企業等(71)
- ・ 行政機関(10)
- ・ 設立提案団体(2)

【柱横断の取組】

- ・ スポーツに関連するイノベーションの情報収集と発信
- ・ メンバー相互間の連携促進・情報交換
- ・ その他、コンソーシアムの目的を達成するために必要な活動

計116団体

ソーシャルイノベーション創出促進の取組

2026予算
10,000千円

ソーシャルイノベーション創出基金の創設

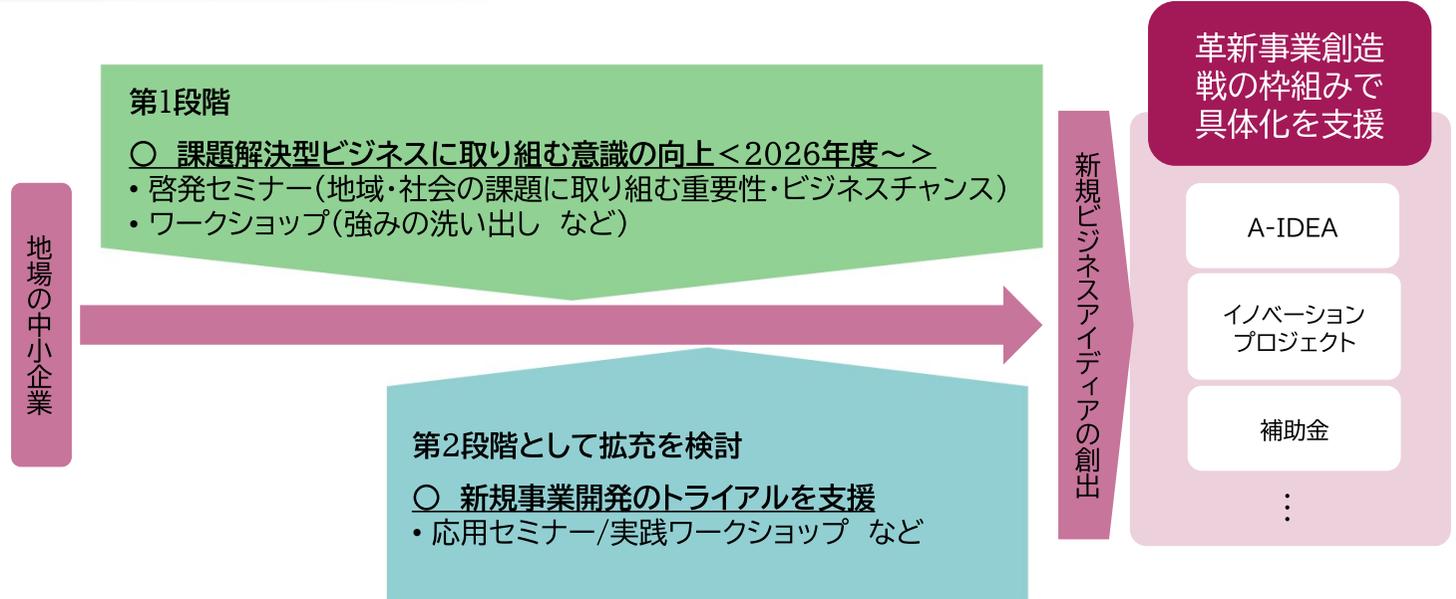
- 社会的な課題の解決及び地域の活性化に資する「ソーシャルイノベーション」の創出を促進するため、個人・民間団体等からの寄附を原資とする「**ソーシャルイノベーション創出基金**」を創設（2025年6月定例議会）
- 基金を活用し、「**ソーシャルイノベーションを創出する人材の育成**」や「**社会実装に向けたプロジェクトの支援**」などを実施

基金概要

【基金名】
ソーシャルイノベーション創出基金

【基金の趣旨】
社会的な課題の解決及び地域の活性化に資するソーシャルイノベーションの創出促進に取り組む

【寄附方法】
基金への寄附
企業版ふるさと納税



活用想定事業

- 県内各地域の中小企業等をターゲットに、地域・社会の課題解決につながる新規事業開発を支援します
- ⇒ 不確実性の時代において、新たな収益基盤の創出と地域・社会の課題解決に取り組む主体としての意識を醸成し、持続的成長と地域・社会の課題解決を一挙両得で実現する取組を行います

基金への寄付のメリット



税制優遇

寄付金控除や損金算入など、社会貢献と税制優遇を両立できます。



企業イメージ

地域・社会の課題解決に貢献することで、公共的価値や企業イメージを高めます。



地域発展

地域の抱える課題の解決により、魅力あふれる住みよい地域への発展が実現します。

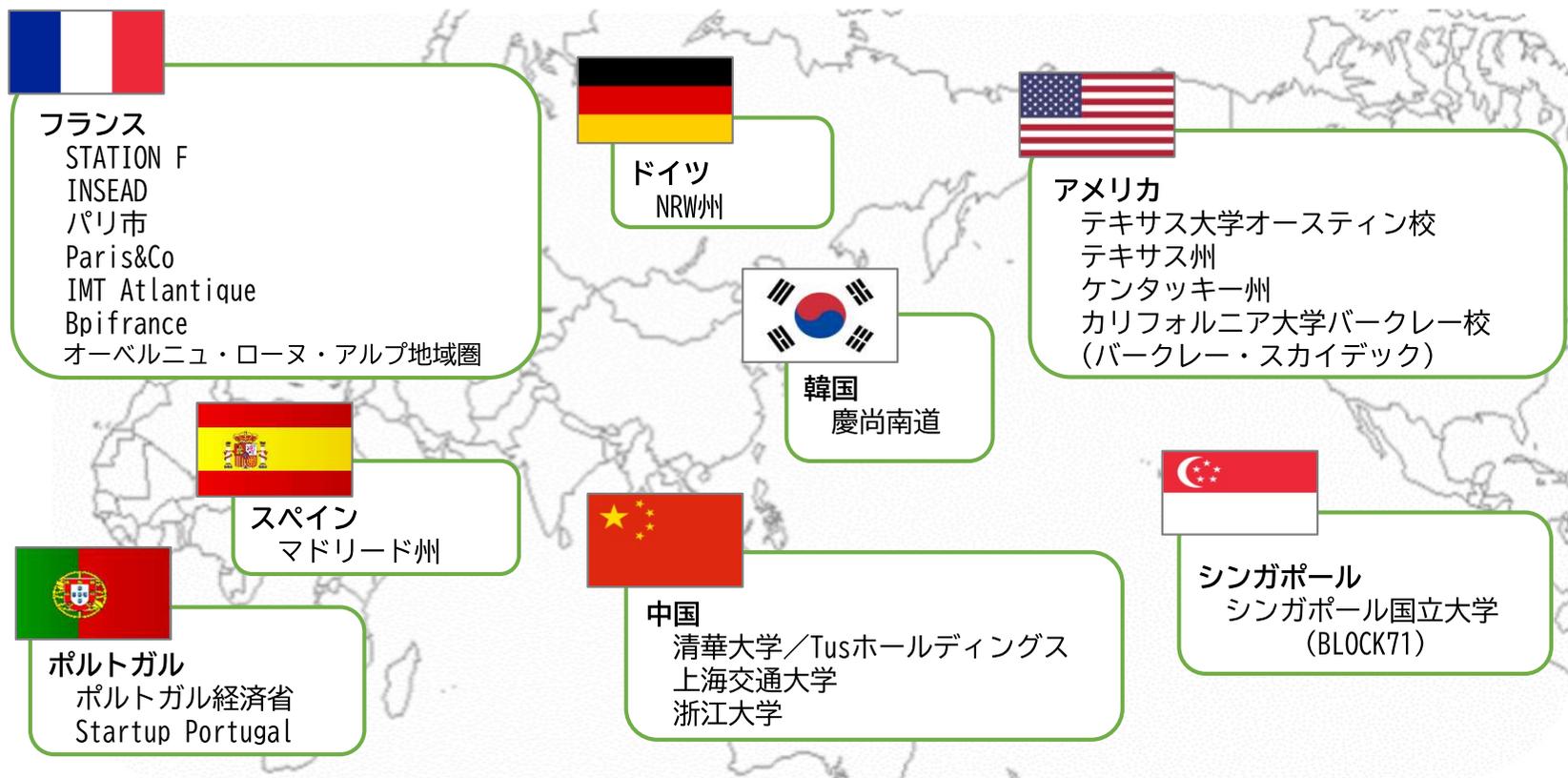


収益向上

顧客やパートナーとなる中小企業等の成長につながり、収益向上が期待できます。

STATION Aiを核とするスタートアップ・グローバルコミュニティの形成

世界最先端のグローバル・イノベーション 《8か国20支援機関・大学との連携》



〈主な連携プログラム〉

連携機関	国	主な取り組み
テキサス大学オースティン校	アメリカ	県内スタートアップを対象とした北米展開ハンズオン支援
カリフォルニア大学バークレー校	アメリカ	同校のメンターを招聘し、県内スタートアップの北米展開支援に向けたアクセラレーションプログラム【新規】
シンガポール国立大学(NUS)	シンガポール	NUS主催のアントレプレナープログラムへの県内大学生の派遣 県内スタートアップによるNUS学生のインターンシップ受け入れ支援【新規】
STATION F	フランス	STATION Aiの運営に対するアドバイス
INSEAD	フランス	県内事業会社の新規事業担当者向けオープンイノベーションプログラム
清華大学/Tusホールディングス	中国	県内スタートアップを対象とした中国展開ハンズオン支援



カリフォルニア大学バークレー校との覚書締結



BLOCK71 NAGOYAオープニングセレモニー 37

先進的な 知見の取得

- 世界最先端のスタートアップ支援の知見方法論取得
- 本地域のスタートアップエコシステムを強化

地域スタート アップの海外 展開支援

- 連携先機関のネットワークやリソースを活用
- 地域内スタートアップの海外市場展開支援

海外スタート アップの誘引・ 地域企業 との共創

- 地域産業集積と融合する世界のスタートアップ誘引
- 地域企業とのオープンイノベーション促進

スタートアップ 施設間の 連携

- 世界各国のスタートアップ支援拠点とSTATION Aiとで、情報共有やプログラム連携

2026予算
106,121千円

- **目的** 海外スタートアップの愛知への誘引・県内事業会社とのオープンイノベーション促進
- **対象** 県内事業会社、海外スタートアップ
- **内容** ①愛知県の産業特性を踏まえた事業領域の海外スタートアップの愛知への誘引と県内事業会社とのオープンイノベーション創出、②同領域で活動する県内事業会社に対する、グローバルを見据えた事業展開や、事業推進に当たっての課題共有や解決に向けた支援の実施

2026年度の内容

▶ **ランディングパッドプログラム(対象：県内事業会社、海外スタートアップ)**

愛知県の産業特性を踏まえた事業領域で活動する海外スタートアップを世界中から本県に誘引し、以下の支援を実施。

- ・日本企業へのヒアリングによるニーズ収集とニーズ分析による協業モデルケースの作成
- ・日本での事業展開に関する研修や日本企業と海外スタートアップとの協業に熟知した専門家によるビジネスプランの磨き上げ
- ・県内事業会社とのマッチング支援

(参加海外スタートアップ 30社)

※2021～2025年度までは、あいちグローバルスタートアップ・エコシステム推進事業として実施。

2025年度
実績

海外
スタート
アップ

18社

▶ **コミュニティ醸成プログラム(対象：県内事業会社)**

製造業に特化した事業会社のオープンイノベーションコミュニティを運用し、共通の課題や解決策を共有し合うことで、事業会社がオープンイノベーションに参画しやすい環境を整備・醸成する。

- ・製造業に特化した定期的なコミュニティイベントの開催
- ・製造業のイノベーションに関する最新トレンド情報やコミュニティの取組の発信

2026予算
141,052千円

海外スタートアップ支援機関・大学との連携

アメリカ支援機関連携事業

- **目的** スタートアップ・エコシステムの先進地のノウハウの習得及びスタートアップ・エコシステム形成促進
- **対象** グローバル展開を目指すスタートアップ、スタートアップ支援機関等
- **内容** 米国・テキサス大学オースティン校(UTA)やカリフォルニア大学バークレー校と連携
グローバル展開を目指すスタートアップ・起業家等の育成と先進地のノウハウ習得



2026年度の内容

スタートアップの海外展開支援

海外展開ハンズオン支援

UTAのメンターによる約6か月間のメンタリングで、事業・ピッチ内容のブラッシュアップ、米国展開のためのアクションプランの提供、米国内外のビジネスパートナーの探索・提携支援を実施

先進地のノウハウ習得

セッション・オフィスアワーの実施

UTAやSXSWと連携し、TechGALA Japanにおいてテキサス州のスタートアップ・エコシステム等を伝えるセッション及びオフィスアワー（個別相談会）を実施

海外展開支援プログラム

アクセラレーションプログラムの実施

カリフォルニア大学バークレー校のアクセラレーターであるスカイデックと連携し、県内スタートアップの海外展開支援アクセラレーションプログラムを実施

展示会出展支援

SXSWへのスタートアップ出展支援

毎年3月にテキサス州オースティンで開催される、世界最大級の複合イベントSXSWへの、県内スタートアップのブース出展を支援

起業家支援

起業家派遣プログラム

起業家等を1週間程度テキサス州へ派遣し、メンタリングや現地のVC・企業等とのネットワーキングを行う機会を提供



ファイゲンバウム
UTA副学長との
記念撮影
(2025年4月10日)



ウインネット
スカイデック代表との
記念撮影
(2024年12月3日)

2025年度
実績

海外展開ハンズオン支援
3社参加

SXSW出展支援
3社参加

起業家派遣
4名参加

海外スタートアップ支援機関・大学との連携

シンガポール国立大学(NUS)連携事業(2020年度～)

- 目的 NUSのノウハウの導入による、本県におけるスタートアップ・エコシステムの形成・充実
- 対象 県内企業、県内スタートアップ、学生
- 内容 スタートアップ・エコシステム形成促進

2026年度の内容

- ▶ **県内スタートアップによる展示会出展支援**
シンガポールで開催される展示会への県内スタートアップ出展支援(2社)
- ▶ **マッチングイベント・セミナー等**
NUSが支援するスタートアップと県内企業とのマッチングを目的としたイベントやセミナー等の実施
- ▶ **NUS Enterpriseサマープログラムへの県内学生の派遣**
NUS主催のアントレプレナーシップ養成プログラムへ県内の学生を派遣(3名)
- ▶ **東南アジアビジネス展開プログラムへの県内スタートアップの派遣**
NUS主催の東南アジアビジネス展開プログラムへ県内スタートアップを派遣(2社)
- ▶ **NUS学生のインターンシップ受け入れ支援**
県内スタートアップによるNUS学生のインターンシップを受け入れ支援(3社)



BLOCK71 NAGOYA
オープニングセレモニー
(2024年11月)



2025年度
実績

国内外スタートアップ	国内外スタートアップと 県内事業会社の協業支援 参加県内 事業会社	展示会出展 スタートアップ	サマープログラムへの 学生派遣	ビジネス展開プログラムへの 県内スタートアップ派遣
計 9 社	4 社	8 社	3 名	3 社

2026予算
164,216千円
の一部

海外スタートアップ支援機関・大学との連携

INSEAD連携事業(2020年度～)

- **目的** 世界トップクラスの経営大学院INSEADのノウハウの導入による、本県におけるスタートアップ・エコシステムの形成・充実
- **対象** イノベーションや新規事業創出等に取り組む県内事業会社
- **内容** INSEADと連携した人材育成プログラムの実施

2026年度の内容

世界第1位(※)の経営大学院INSEADと連携し、以下のプログラムを実施。

(※)2021年度Financial Times Global MBAランキング

イノベーションプログラム(2020年度～)

企業内起業家(イントレプレナー)やスタートアップとのオープンイノベーションを推進する人材の創出を目的とする、主に大企業向けプログラム

【2025年度参加企業(17社/19名)】
(株)アイシン、朝日インテック(株)、(株)エクシング、岡谷鋼機(株)、中部電力(株)、東海旅客鉄道(株)、トヨタ自動車(株)、(株)豊田自動織機、豊田通商(株)、ノリタケ(株)、ファイザー・ファーマ(株)、(株)FUJII、武蔵精密工業(株)、(株)Mizkan Holdings、丸紅(株)、UACJ(株)、武蔵精密工業(株)
(※)そのほか過去参加企業：(株)デンソー、東邦ガス(株)、日本特殊陶業(株)、トランコム(株)、ブラザー工業(株)、三菱重工(株)、三菱電機(株) 等

中堅・中小企業向けプログラム(2023年度～)

新規事業や既存事業拡大に取り組む、県内の中堅・中小企業向けプログラム

【2025年度参加企業(15社/16名)】
(株)コーエーテック、小林クリエイト(株)、(株)実業之日本総合研究所、新明工業(株)、(株)高瀬金型、(株)タマリ工業、(株)中京電気、(株)テクノ中部、原田車両設計(株)、(株)前田工作所、武蔵精密工業(株) 等



INSEADアジアキャンパス
訪問時の様子(2022年8月)



INSEADイノベーションプログラムの様子
(2020年12月)

2026予算
164,216千円
の一部

海外スタートアップ支援機関・大学との連携

フランススタートアップ支援機関(STATION F等)連携事業(2021年度～)

- **目的** フランスのスタートアップ支援機関のスタートアップ支援に関するノウハウを愛知県に取り込むとともに、そのノウハウを活用して本県におけるスタートアップ・エコシステムの形成・充実を目指す
- **対象** フランスのスタートアップ支援機関の知見を取り込みたいと考えている県内のスタートアップ関係者
- **内容** フランスのスタートアップ支援機関と連携した人材育成プログラムやツアーを実施

2026年度の内容

▶ マネジメントチームによるサポート

STATION Aiの運営やプログラム連携等について共有・議論するためのミーティング(1回)

▶ STATION F 主催・参画イベント・展示会での出展支援

県内スタートアップをSTATION Fが主催・参画するイベントや展示会に派遣(2社)

▶ STATION Fに入居するパートナーとの連携プログラム

欧州をはじめとした事業の海外展開につながるプログラムをSTATION Fにて実施 (5名)

他の主な取組

Paris&Co及びスポーツ関連スタートアップによる愛知県ツアー

IMT Atlantiqueとのセミナー

STATION F



2025年度
実績

出展支援

2 社参加

Paris & Co関係者ツアー

2 社参加

インバウンドツアー

3 社参加

IMT Atlantique
クローズドディスカッション

5 名参加

中国支援機関(清華大学・Tus Holdings & 上海交通大学)連携事業(2020年度～)

- **目的** 清華大学の関連組織のTus Holdingsや上海交通大学と事業連携し、愛知県と中国のスタートアップ・エコシステムの醸成を深め、ビジネスチャンスを創出する
- **対象** 県内スタートアップ・県内企業、中国スタートアップ・中国企業
- **内容** 愛知・中国のスタートアップ・既存の企業のビジネスマッチング等

2026年度の内容

〔Tus Holdings連携事業〕

▶ 県内スタートアップの中国市場展開支援プログラム

県内スタートアップのハンズオン支援・中国企業等とのマッチング

2025年度
実績

ハンズオン支援

3社参加

〔上海交通大学連携事業〕

▶ 展示会出展プログラム

上海交通大学の協力のもと、中国で開催される展示会やフォーラム等への県内スタートアップの参加を支援し、中国企業・投資家とのマッチングを促進

展示会出展支援

2社出展



中国・上海での展示会出展(2025年9月)

- **目的** 中国浙江大学・上海交通大学と連携し、愛知県と中国の学生が交流しながら、社会的課題解決に導く革新的かつ柔軟なアイデアの発掘や、グローバルに活躍できる起業家を創出する
- **対象** 県内大学生、浙江大学・上海交通大学の学生
- **内容** 愛知県・中国の学生の創業支援、日中の学生交流



2026年度の内容

浙江大学・上海交通大学連携 「学生交流・創業支援プログラム」

▶STEP1 アントレプレナーセミナー

日中の経済情勢や起業事例等の基礎知識を取得するセミナー

2025年度
実績

26名参加

▶STEP2 アイデアソン

中国の学生と交流しながら、社会的課題の解決に向けたアイデアを創出するワークショップ

22名参加

▶STEP3 中国現地ピッチイベントツアー

アイデアソンの優勝チームは中国に渡航し、現地のピッチイベントでアイデアのプレゼンテーションを実施

4名参加



アイデアソン(2025年9月)



中国現地渡航(2025年12月)

海外スタートアップ支援機関・大学との連携

グローバルコミュニティ形成事業(2025年度～)

- **目的** 連携国・地域の企業や自治体職員の交流による、本県におけるスタートアップ・エコシステムの形成・充実
- **対象** 県内スタートアップ・県内企業、ドイツ・NRW州、スペイン・マドリッド州及びポルトガルのスタートアップ・企業、自治体職員
- **内容** グローバルな連携の拡大および連携をもとにしたイベントの開催

2026年度の内容

県内スタートアップの海外展開(アウトバウンド)や情報発信、海外スタートアップの来県(インバウンド)やイベント開催などの具体的な相互交流を進め、確固たるグローバルコミュニティとすることで、本県の産業強化と新たな産業の育成を支援していく。

▶ アウトバウンド機会創出支援及び情報発信

県職員が各地域の現地政府や支援拠点などを訪問し、スタートアップの展示会出展支援を行ったり、スタートアップ支援機関を訪問し、相互のエコシステム発展に向けたイベント運営や施策運用における情報交換、意見交換などを行う。

▶ インバウンド機会創出

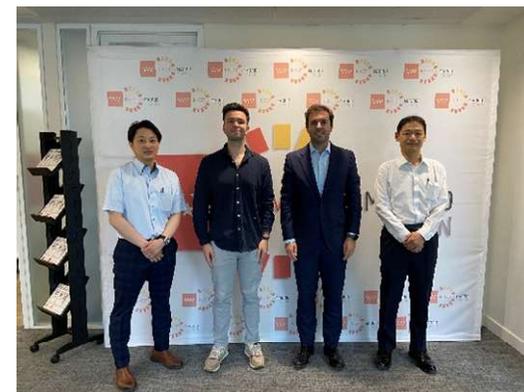
連携先から政府要人が来日する際、県内主要施設の視察、知事との対談、地元企業などを集めたレセプションを開催する。

▶ グローバルコミュニティ席設置

各連携先から来日した連携先機関の職員やスタートアップが、愛知県内での活動を行うための拠点として、STATION Aiに専用席を設ける。

▶ イノベーションアクセラレート事業

2025年度に、アドバイザーから愛知県のイノベーション施策に対して得られたアドバイスを後世に残すため、書籍化などを行う。



県職員のマドリッド州政府
関係機関訪問(2025年6月)



ポルトガルスタートアップ訪問団と地元企業との
ネットワーキング(2025年6月)

グローバルイベントの開催

スタートアップ地域連携グローバルイベント事業「TechGALA Japan」(2024年度～)

2026予算
130,970千円

- 世界中からイノベーションを牽引するリーダーや多様な分野のプレイヤーが参画・交流・連携し、未来を創造する、“地球の未来を拓くテクノロジーの祭典「TechGALA Japan (テックガラ ジャパン) 」”を開催。
- 最新テクノロジーと革新的なアイデアを発信する場を創出し、これまでにない、全く新しい次世代のコミュニティ形成を目指す。

TechGALA Japan 2026開催概要

- **開催日程**
2026年1月27日（火）から1月29日（木）まで
- **会場**
名古屋市内（STATION Ai、中日ビル、ナディアパークなど）
- **イベント内容**
 - ・世界的に著名なスピーカーによるキーノートスピーチ
 - ・国内外のスタートアップや事業会社等によるセッション・展示
 - ・世界のスタートアップが出場するピッチコンテスト など

開催実績



次回開催について

- **開催日程**
2026年12月15日（火）から12月17日（木）まで
- **会場**
名古屋市内（STATION Ai、中日ビル、ナディアパークなど）

Tech GALA

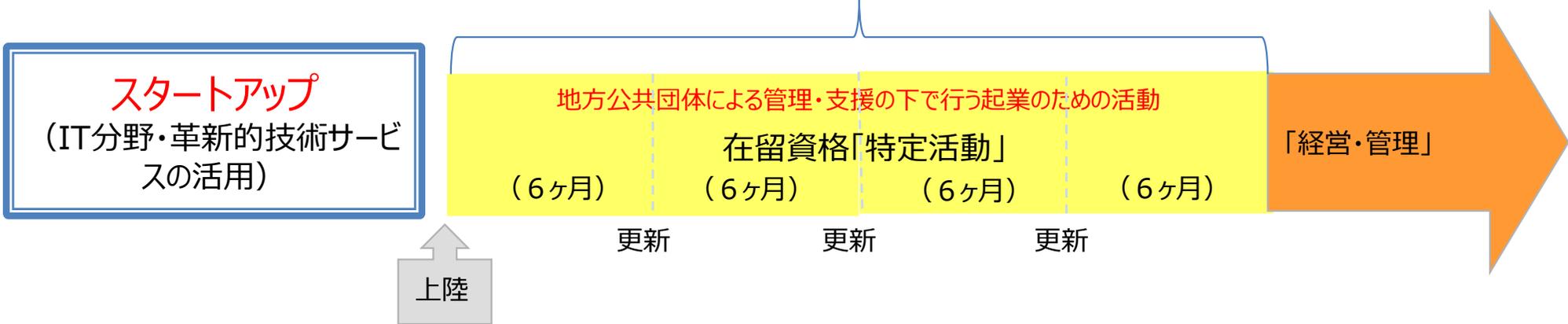


外国人によるスタートアップ創出支援

あいちスタートアップビザ (2019年度～)

- 目的 愛知県内で起業を希望する外国人の在留資格「経営・管理」の取得要件具備を猶予するとともに、起業にかかる経営支援を通じて外国人による起業活動を促進させる
- 対象 愛知県内で起業を希望する外国人
- 内容 ① スタートアップの起業 : 在留資格「特定活動」により、起業準備活動の入国・在留期間を最長2年間
② 起業時の経営支援 (中小企業診断士による経営診断等)

あいちスタートアップビザ



2025年度
実績

申請件数 上陸件数
計 10社 5社

AICHI STARTUP SCHOOL(2022年度～)

- **目的** 起業など新たな価値を創造する人材を若年層から発掘・育成
- **対象** 小学生、中学生、高校生・高専生・専修学校高等課程生
- **内容**
 - ① 小中学生向け起業家精神育成プログラムの開催
 - ② 高校生・高専生等向け起業家精神育成プログラム(基礎編・応用編)の開催
 - ③ 高校向けアントレプレナーシップ教育出張授業
 - ④ 学生交流事業の開催



2025年度の実績



【小学生プログラム】参加者 170名(県内4会場)

- ・ 身近な題材を基に、起業や会社設立・運営を体験するワークショップを行う。

【中学生プログラム】参加者 27名(県内4会場)

- ・ 起業を想定した事業計画の作成、模擬販売の実施。

【高校向けアントレプレナーシップ教育出張授業】(県内12校 2025年2月末時点)

- ・ 高校生が新たなキャリアの選択肢を知り、アントレプレナーシップの重要性を理解してもらうため、高校の授業の中で、起業や新規事業創出に携わる方から、自身のキャリアや事業を行うきっかけ等を聞く出張授業を実施。

【高校生プログラム】参加者 46名(県内4会場)

- ・ 事業アイデアの構築しビジネスモデルのピッチを行う。
- ・ ビジネスプランの作成を通じた実践的起業体験し、事業計画のピッチを行う。

学生・社会人向けプログラム及びスタートアップ人材裾野拡大事業(2023年度～)

- **目的** スタートアップの起業やスタートアップへの就業に関わる人材を増加させ、スタートアップ創出の裾野拡大を行う
- **対象** 【社会人向け】社会人・既存企業・スタートアップ支援者等
【学生向け】大学院、大学、専門学校、高校生等
【就労希望者向け】スタートアップでの就業に興味を有する者等
- **内容** 【社会人向け】講演会や勉強会、ワークショップや個別メンタリングを実施
【学生向け】学生の参加しやすい夏季(8～9月)、春季(2～3月)に短期集中プログラムを実施
【就労希望者向け】スタートアップに特化した人材マッチングイベントの開催

社会人向けPG

2025年度実績：参加者総数520名

特徴

- ・ 講演会・勉強会・ワークショップ等を年間を通じて実施。
- ・ 起業確度の高い参加者にはメンタリングで起業に向けた支援を実施。
- ・ 優秀者はSTATION Aiのメンバーへ。



学生向けPG

2025年度実績：参加者総数71名

特徴

- ・ 6日間程度の短期集中プログラム(夏・春開催)。
- ・ ハイブリット形式による開催で国内外から優秀な学生が参加可能。
- ・ 優秀者はSTATION Aiのメンバーへ。



人材マッチングイベント

2025年度実績：参加スタートアップ20社、参加者数96名

特徴

- ・ 主にシード、アーリー期のスタートアップが参加
- ・ 学生向け、社会人向けPGで起業に至らなかった者に対しても、就労機会を提供することでエコシステムに関わる人材を増加させる。

愛知の有望スタートアップが集結
未来のキャリアと出会う場所

INNOVATION JOB FAIR
STARTUP DAY | AICHI

2026予算
60,042千円

スタートアップ創出ステージ支援

スタートアップコンテスト開催事業(2024年度～)

- 目的 起業を目指す方及び創業間もないスタートアップを対象にしたコンテストの開催
- 対象 起業を目指す方、創業間もないスタートアップ
- 内容 ① 起業を目指す方を対象とした、起業支援一体型のビジネスプランコンテストを開催
② 創業間もないスタートアップを対象に、時流に合ったテーマを設定したピッチコンテストを開催

起業家創出促進事業

特徴

対象：起業を目指す方
賞金総額：6,000千円

2025年度実績

応募者数：51名 採択者数：20名
2026年2月10日 ビジネスプランコンテスト開催
観覧者数：93名（オフラインのみ）
優秀者：1位 株式会社NAGARA、2位 株式会社MEDISY、
3位 株式会社ナースX

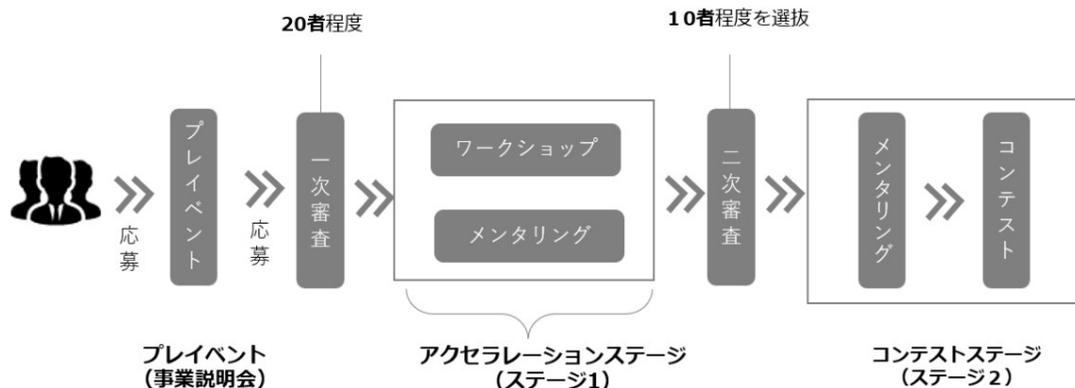
スタートアップ成長支援事業

特徴

対象：スタートアップ
賞金総額：10,000千円×3回

2025年度実績

<シーズン4> 応募者数：99社、観覧者数：129名
優秀者：1位 株式会社RePlayce、2位 株式会社MamaWell、
3位 株式会社クロスメディスン
<シーズン5> 応募者数：40社、観覧者数：143名
優秀者：1位 eMotion Fleet株式会社、2位 glafit株式会社、
3位 株式会社マップフォー
<シーズン6> 応募者数：92社、観覧者数：80名
優秀者：1位 株式会社FieldWorks、2位 ikura、
3位 株式会社エンドファイト



将来ユニコーンとなりうる
優秀なスタートアップの誘引

成長見込みの高いスタートアップ
に対して事業推進に必要な
資金を提供

スタートアップの創業資金確保の支援

起業支援金(あいちスタートアップ創業支援事業費補助金)(2019年度～)

- **目的** スタートアップの創出を資金面から支援する起業支援金を支給。その後、伴走支援
- **対象**
 - ① IT・デジタル分野(情報通信業)において急成長を目指す起業
 - ② 革新的技術・技能(ビジネスモデル)を用いて急成長を目指す起業
 - ③ Society5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野での、事業承継又は第二創業により実施する事業
- **内容**
 - ① 補助対象事業にかかる経費に対し、上限200万円の補助(30件) 移住を伴う場合には上限100万円上乗せ補助
 - ② 伴走支援の実施

2026年度スケジュール(予定)

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
説明会		起業支援金 交付対象事業期間						実績報告書提出	確定検査	起業支援金支払
募集期間	審査 交付 決定			中間検査						
		伴走支援								

応募件数 交付決定件数 支給件数

2025年度
実績

73 件 31 件 22 件

実績例 (2025年度)
介護しながら事務作業を終わらせる音声
特化AI SaaS「ながらかいご」を主軸とし
たITサービス業(株式会社NAGARA)



スタートアップ創業資金確保の支援《間接金融》

あいちスタートアップ制度融資(2019年度～)

- **目的** Aichi-Startup戦略に基づく支援を受けたスタートアップに対して、低利な融資を通じた資金面での支援
- **対象** 県が行うスタートアップ支援事業による支援を受けた者
- **内容** 県制度融資メニューの「創業等支援資金」の利率から0.3%の金利優遇

県制度融資メニュー「経済環境適応資金」【創業等支援資金】

融資対象者	①事業を営んでいない個人が、2か月以内に新たに会社を設立し事業を開始すること ②事業を営んでいない個人が、新たに設立した会社で設立日以後5年を経過していないこと 等								
融資限度額	3,500万円								
融資期間・利率	<table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>年1.0%</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>年1.1%</td> </tr> <tr> <td>7年</td> <td>年1.2%</td> </tr> <tr> <td>10年</td> <td>年1.3% (設備資金のみ)</td> </tr> </table>	3年	年1.0%	5年	年1.1%	7年	年1.2%	10年	年1.3% (設備資金のみ)
3年	年1.0%								
5年	年1.1%								
7年	年1.2%								
10年	年1.3% (設備資金のみ)								

県が行うスタートアップ支援事業による支援を受けた者は左記利率から0.3%の金利優遇

※ 融資条件の詳細は愛知県信用保証協会又は愛知県融資制度取扱金融機関へお問合せください

対象事業：県が行うスタートアップ支援事業

※ 申請者は、「証明申請書」をスタートアップ推進課に提出し、証明を受けることが必要

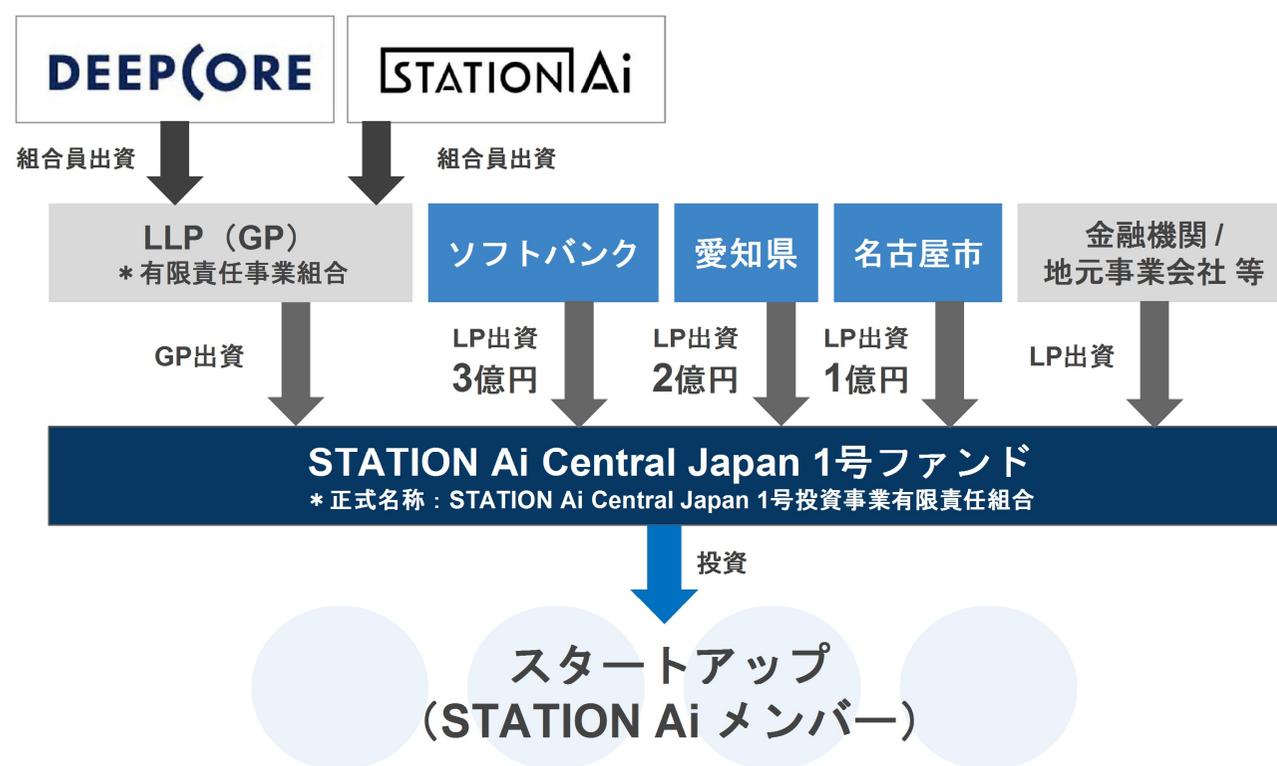
- ① 愛知県スタートアップ支援拠点「STATION Ai」に会員として登録されている者
- ② 「スタートアップ創出・育成事業」のうち「ACTIVATION Lab」のメンタリングを受講した者又は「STAPS」の最終ピッチに登壇した者
- ③ 「スタートアップ成長支援事業」に参加し、提供されたプログラムを受けた者
- ④ 「海外スタートアップ支援機関連携推進事業」に参加し、提供されたプログラムを受けた者（一般向け講演会等のみに参加した者を除く）
- ⑤ 「あいちスタートアップ創業支援事業費補助金（起業支援金）」の採択を受けた者

※上記②～⑤については、期間を定め、該当した年度及びその翌年度末までを対象とする。

STATION Ai Central Japan 1号ファンド(2022年度～)

- **目的** 投資ファンドの運用により、PRE-STATION Aiメンバーの資金調達を支援(2022年5月設立)
- **内容**
 - ① STATION Ai株式会社と株式会社ディープコアをGPとする15億円のファンド
 - ② プレシード～シリーズAのPRE-STATION Aiメンバーに対して投資を実行
 - ③ 投資先の発掘や投資先支援などで、Central Japan Startup Ecosystem Consortiumと連携

項目	内容
GP (運営者)	STATION Ai(株)と(株)ディープコアによる有限責任事業組合
LP (出資者)	ソフトバンク(株)、愛知県、名古屋市、県内事業会社や金融機関等
ファンド規模	15億円
投資対象	STATION Aiメンバー ※PRE-STATION Ai含む
投資ステージ	プレシード/シード/シリーズA
存続期間	10年(延長：最大2年)
投資期間	5年



DEEPCORE

ソフトバンクグループ株式会社の100%子会社のベンチャーキャピタル。2017年の設立以降、シード～アーリー期の、AI(特にディープラーニング)及びその周辺領域技術をベースとしたビジネスを行う企業を対象にハンズオン支援及び投資を実施。

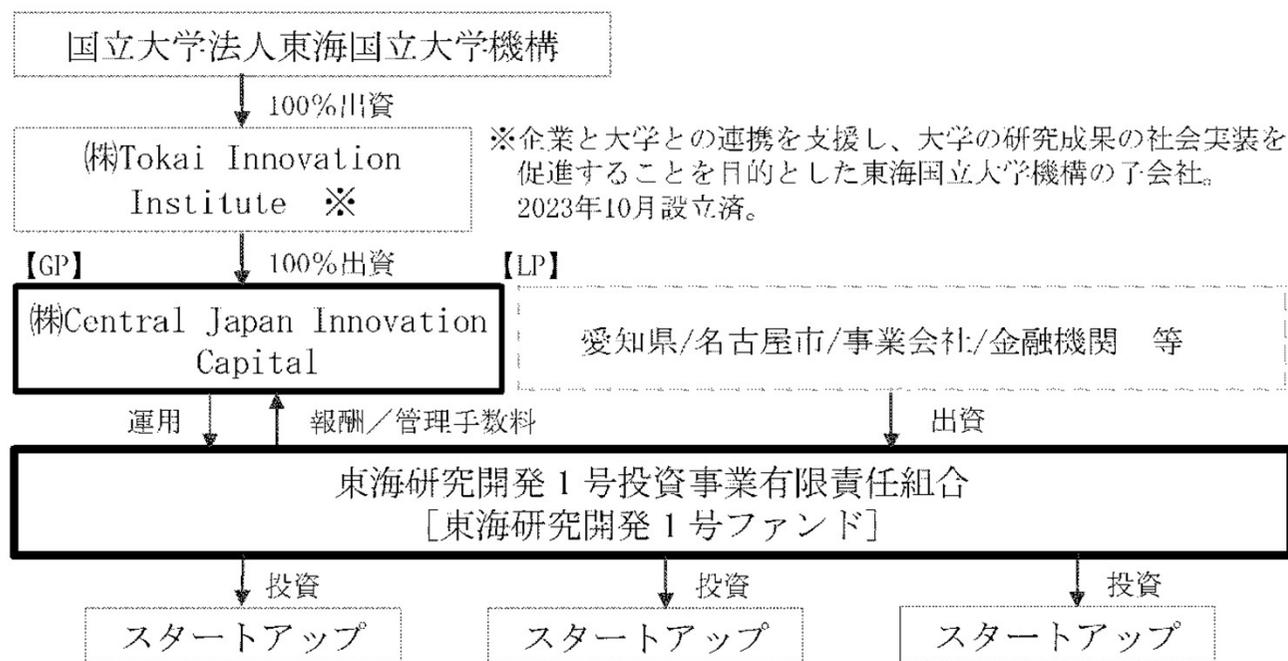
ディープテックスタートアップの資金調達《直接金融》及び成長支援

投資件数
5件

東海研究開発 1号ファンド(2024年度～)

- **目的** 投資ファンドへの出資により、ディープテックスタートアップの資金調達を支援(2024年12月設立)
- **内容** ①名古屋大学と岐阜大学を運営する東海国立大学機構の孫会社である(株)Central Japan Innovation CapitalをGPとする50億円規模のファンド(ファーストクローズ33億円)
②国内外のシード・アーリーステージを中心とした東海地域に大きなインパクトを与え得るディープテックスタートアップに対して投資を実行

項目	内容
GP (運営者)	(株)Central Japan Innovation Capital
LP (出資者)	愛知県、名古屋市、事業会社や金融機関等
ファンド規模	50億円程度
投資対象	ディープテック×BtoB領域を中心に、東海地域に大きなインパクトを与え得るスタートアップ
投資ステージ	シード/アーリー/ミドル
存続期間	10年(延長：最大5年)
投資期間	6年



(株)Central Japan Innovation Capital：東海国立大学機構の孫会社のベンチャーキャピタル。2024年11月設立。名古屋大学の元スタートアップ担当副総長であり、自動運転スタートアップの(株)ティアフォー元代表取締役社長である武田氏をはじめとして、ディープテックスタートアップの成長支援に深い知見を有した人材を登用。

- 目的 破壊的イノベーションを期待できる事業を社会実装させユニコーン企業を創出
- 対象 大学や研究所等発のディープテックスタートアップ
- 内容 ① 採択スタートアップに対する複数年度にわたる成長支援及び、4,000万円/件×2件以上の研究開発費支援
② 地域のスタートアップに対して、コミュニティづくり(イベント、教育プログラム)や相談対応等を実施 等

Aichi
Deeptech
Launchpad

個別スタートアップの事業加速支援とディープテックエコシステムの両輪で構成

<提供体制>



① 個社アクセラレーション



研究開発費交付(総額8,000万円)



知見保有者による研究開発支援



個別定例メンタリング、外部専門家メンタリング、協業候補先紹介



グローバルカンファレンス出展・参加補助



市場調査費補助



ディープテックエコシステム関係者交流イベント
(VC Meetup、Demoday等)



SNSコミュニティ

② エコシステム構築



ディープテック教育プログラム
(経営スキル公開講座を県内大学、STATION Aiで実施)



Webポータル発信



オンライン相談窓口

2025年度採択企業 5社(研究開発費支給あり：3社、なし：2社)



(磁気センサ)



(繊維)



(環境・エネルギー)



(医療機器・リハビリ)



(農業・バイオ)

3 スタートアップ創出・成長支援

2026予算
29,052千円

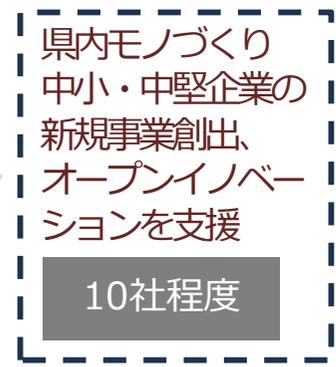
オープンイノベーション裾野拡大事業(2025年度～)

- 目的 スタートアップ等と県内モノづくり中小・中堅企業とのオープンイノベーション促進
- 対象 愛知ブランド企業又は基盤産業関連の県内モノづくり中小・中堅企業
- 内容 愛知ブランド企業等のモノづくり中小・中堅企業における新事業創出を支援するため、事業計画の策定から立上げまでをオープンイノベーションの手法等を活用し、専門家が一貫して支援する「モノづくり企業新規事業創出プログラム」を実施

実施スキーム



委託
委託事業者
個別企業への専門支援



- ・ 新たなビジネス・競争力の確保
- ・ 自立・自走して新事業創出に取組む中小・中堅企業の増加
- ・ STATION Aiへの入居誘引
- ・ 県内企業とスタートアップ等とのオープンイノベーション促進



2025年度実績

支援企業
8社

プログラム内容・スケジュール



スタートアップ・エコシステムにおけるダイバーシティの推進

スタートアップダイバーシティ推進事業(2025年度～)

- **目的** スタートアップ・エコシステムに多様なプレイヤーの参入を促進することで、イノベーションが生まれやすい環境を醸成
- **内容** 女性起業家の創出支援等、現在のスタートアップ・エコシステムのダイバーシティ推進に資する取組を実施。



女性起業家の創出



実施内容

起業前後の女性を対象としたアクセラレーションプログラムの実施
(株ウイズグループ)

【2025実績】

- ・ 資金調達額 1,000万円以上：6件
- ・ 女性起業家創出数：1件
- ・ 他のアクセラレーションプログラム等への採択数：16件

実施方法

各テーマの実現に(KPI項目を愛知県が設定)資する取組を3件実施

(条件)

金額上限：16,500千円/テーマ

期間：約6ヶ月



研究者の参画



実施内容

様々な分野の研究者や企業、スタートアップが集い、知識の融合を通じてイノベーションを生み出す超異分野学会を開催 (株リバネス)

【2025実績】

- ・ 事業に参加した研究者と企業等との連携仮説の設計：5件

その他

ダイバーシティ推進の普及啓発に資するセミナー・ワークショップの開催



学生のSUへの就業



実施内容

国内・海外・外資系スタートアップの現場で就労する学生インターンシッププログラム (PLUS IMPACT(株))

【2025実績】

- ・ 参加学生のスタートアップへのインターンシップ：21件

スタートアップの製品等の公共調達の促進

スタートアップ公共調達促進事業(2026年度～) 【新規】

- **目的** スタートアップの製品やサービスの公共調達の促進を通じたスタートアップの成長支援
- **内容**
 - ① 県及び県内市町村によるスタートアップの製品やサービスのトライアルを支援
 - ② トライアルを実施した市町村が当該製品等を本格導入する際に、新商品・新役務の随契調達について定めた地方自治法施行令第167条の2第1項第4号（4号随契）を活用した随契調達を支援

① スタートアップ製品等トライアル事業

スタートアップの製品等のトライアル発注

- ▶ 発注経費合計：39,600千円 / 18件程度

市町村ニーズ調査・スタートアップの製品等のご紹介

- ▶ 市町村にスタートアップの製品等を活用したい関心領域のニーズを調査、ニーズに基づいてスタートアップの製品等を紹介。

トライアル時のサポート

- ▶ トライアルする際のスタートアップとの面談について必要に応じてファシリテーション等のサポートを実施。

② 4号随契制度運用支援事業

4号随契の制度運用

- ▶ 県・市町村の4号随契によるスタートアップからの調達を推進

認定スタートアップのカatalog掲載

- ▶ 認定スタートアップの製品等のPRカatalogを作成

4号随契... 地方自治法施行令第167条の2第1項第4号規定の「新商品の生産又は新役務の提供により新たな事業分野の開拓を図る者として普通地方公共団体の長の認定を受けた者から、新商品として生産する物品を買い入れ若しくは借り入れる契約又は新役務の提供を受ける契約」を用いた随意契約。



世界イノベーション創出都市の中核的プロジェクト

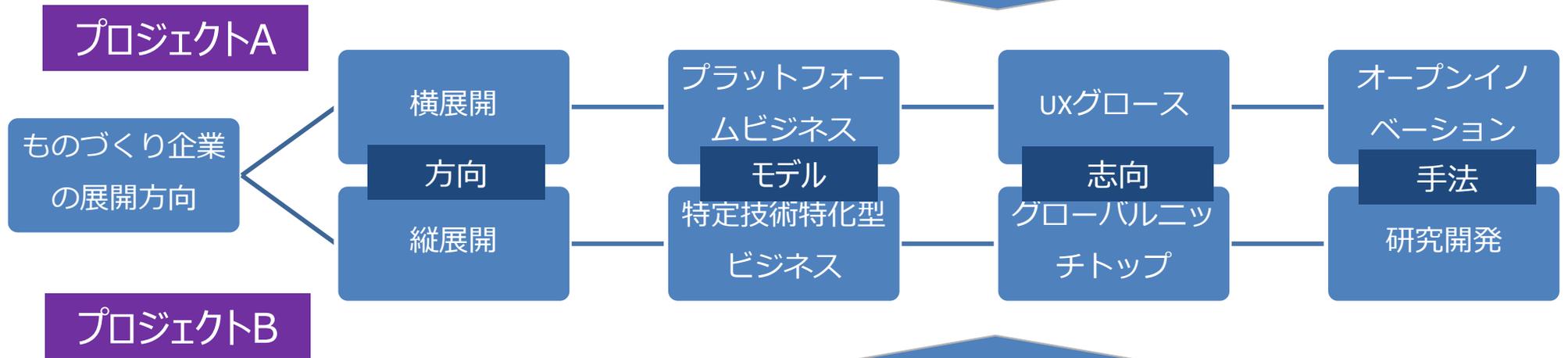
世界有数の愛知県による縦横(プロジェクトA・B)両軸による総合支援体制

プロジェクトA：STATION Aiプロジェクト

- 愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成に向け、スタートアップの創出・育成・展開・誘致を図る。
- 事業会社の入居によるスタートアップとのオープンイノベーションに向けた付加価値創造。



STATION Ai
プロジェクトによる
革新ビジネス
創出・育成・展開
の総合支援



プロジェクトB: 知の拠点あいち重点研究プロジェクト

- 大学等の研究シーズを活用したオープンイノベーションにより新技術の開発・実用化を目指す産学行政連携の研究開発。
- 最先端のシンクロトン光利用施設の併設。
- 高度な計測分析機器を用いた試験・分析により、革新的技術開発を促進。

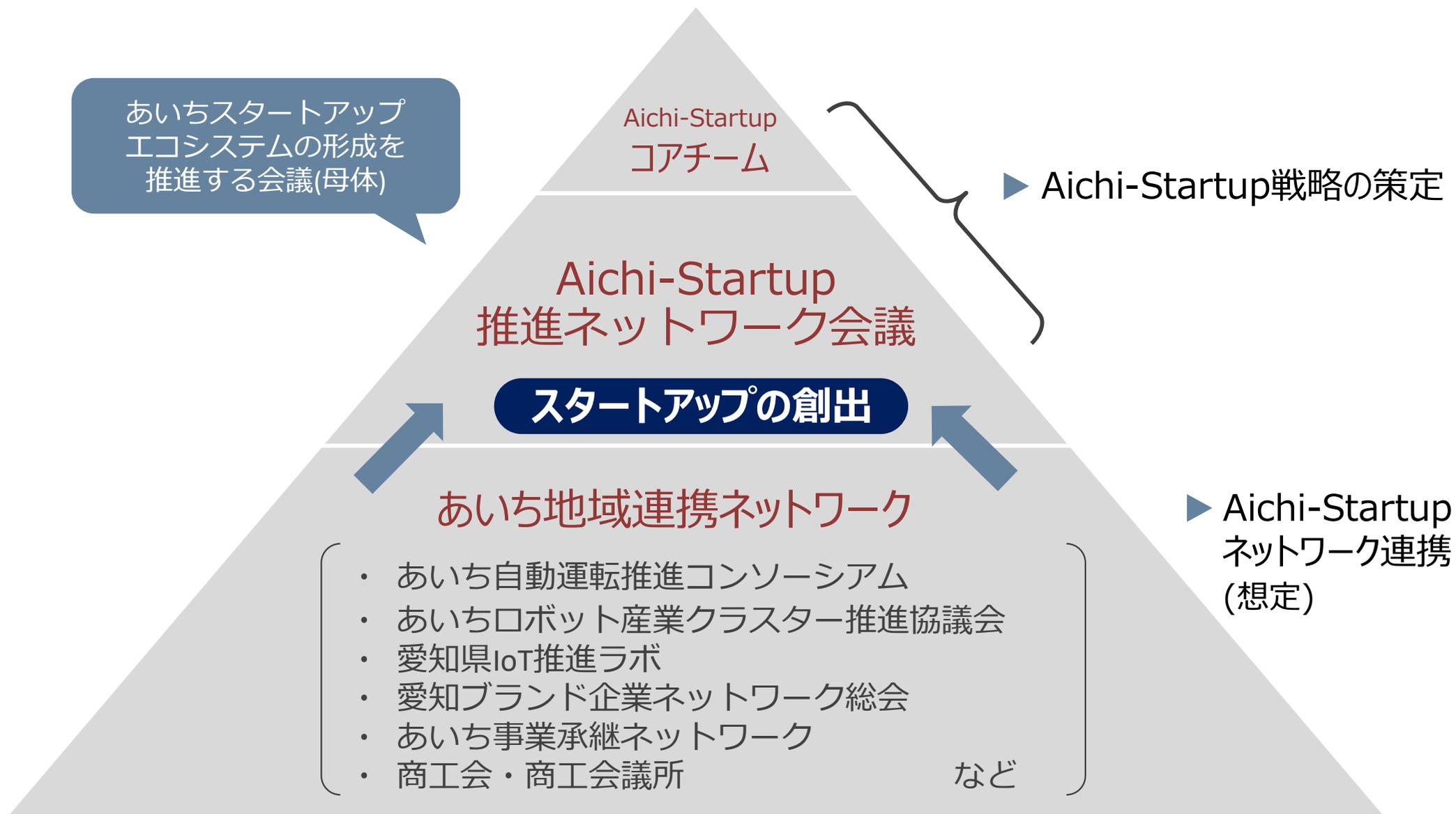


知の拠点あいち・
産業科学技術
センターによる
高度研究開発
支援

知の拠点あいち

5 推進体制(エコシステムの重層的なヒエラルキー構造)

Aichi-Startup戦略(ローリングプラン)に基づく地域推進体制の構築・強化



5 推進体制(Aichi-Startup推進ネットワーク会議メンバー)1

企業(249団体)

あいおいニッセイ同和損保(株)	(株)NTTデータ	久野金属工業(株)	CNV(同)	(株)善都
(株)AIKIリオテック	(株)NTTデータ東海	(株)CURUCURU	(株)シー・エム・バー	(株)ZoDDo
愛三工業(株)	(株)エネファント	来栖国際特許事務所	敷島製パン(株)	ソフトバンク(株)
(株)ICMG	エバーコネク(株)	(株)CloudGear	昭和リース(株)	損害保険ジャパン(株)
アイシン(株)	(株)エフエム愛知	(株)クレディセゾン	(株)ジースヌーズ	(株)高瀬金型
愛知国際会議展示場(株)	(株)エムエス製作所	グローバルビジネスソリューションズ(株)	篠原陽一税理士事務所	瀧上工業(株)
Ibis(株)	(株)MSセンター名古屋	グロースリンク社会保険労務士法人	(株)商船三井	タメスコ(株)
(株)Acompany	(株)MTG	グロースリンク税理士法人	J A 三井リース(株)	大日本コンサルタント(株)
ANPAN Inc	(株)LAcubed	グローバルランチャーズ(株)	ジェイアールセントラルビル(株)	中央可鍛工業(株)
AZAPA(株)	LTV特許事務所	(株)ゲイン	十六リース(株)	中央精機(株)
(株)アックス	A1A(株)	(株)光建	城南法律事務所	中京テレビ放送(株)
(株)アドホック	(株)オータケ	小島プレス(株)	SyncMOF(株)	(株)知万宝
(株)アドライト	岡谷鋼機(株)	(株)コケナワ	(株)新東通信	中部精機(株)
株式会社アメディア	(株)オプティマインド	(株)コメ兵	新日本法規出版(株)	中部電力(株)
(株)アルタ	(株)オプトフィット	志創醒研究所LLC	シンフォニア・プロパティーマネージメント(株)	(株)鳥屋書店
(株)アルファシステム	OpenStreet(株)	(株)コスモテック	新明工業(株)	(株)帝国データバンク
(株)イデックスホールディングス	オリンピア法律事務所	(株)コピー	(株)進和	(株)テクニカルエージェント
(株)イナック	弁理士法人オリベ特許事務所	(株)コンテンツ庵	スイマー(株)	(株)テクノ中部
INCLUSIVE(株)	ORTHOREBIRTH(株)	ZAZA(株)	(株)スイムテック	テクノホライゾン(株)
(株)ウエスコ	弁理士法人オング国際特許事務所	(株)さくら	(株)SUGEHARA & NA Associates	テレビ愛知(株)
(株)宇佐美鋳油	快友国際特許事務所	サクラ・ミライリソース	(株)スタメン	(株)デンソー
(株)UNERI	(株)カチノデ	佐治税理士事務所	STATION Ai(株)	(株)電通 中部支社
Vanguard Industries(株)	(有)カツミ製作所	サスティナブル・ストーリー(株)	弁護士法人 スピカ	(株)電通ライブ
(株)AMN	(株)加藤工務店	(株)サーラコーポレーション	(株)スピード	(株)電通名鉄コミュニケーションズ
(株)エクシング	川崎重工業(株)	(株)三弘	(株)スペース二十四コミュニケーションズ	東海エイチアール(株)
(株)AGSコンサルティング	河村電器産業(株)	(株)三十三総研	住友理工(株)	弁護士法人 東海総合
(株)エクサウィザーズ	(株)CAMPFIRE Startups	(株)J&J事業創造	(株)セカンドコンセプト	(株)東海テレビプロダクション
S MC(株)	(株)キャディ	(株)ジェイテクト	セキスイハイム東海(株)	東海テレビ放送(株)
SMB C日興証券(株)	キャンピングカー株式会社	(株)ジェイトップ	セレンディップ・コンサルティング(株)	(株)東海理化
(株)エナジーハーベスト	桐山社会保険労務士事務所	J. フロントリテイリング(株)	(有)ZEROホールディングス	東海旅客鉄道(株)

5 推進体制(Aichi-Startup推進ネットワーク会議メンバー)2

企業(249団体)			金融機関(29団体)	
東京海上日動火災保険(株)	(株) Harmony For	ホーユー(株)	立地サポート行政書士事務所	愛知キャピタル(株)
東邦ガス(株)	(株) 博展	(株) M A R Kコンサルタンツ	(株) Liberaware	(株) あいち銀行
東朋テクノロジー(株)	(株) 博報堂プロダクツ	(株) 前田技研	リンクウィズ(株)	愛知県信用金庫協会
東和不動産(株)	(株) 働きごこち研究所	(株) 前田鉄工所	(株) Luup	愛知県信用保証協会
豊島(株)	ファイザー・ファーマ株式会社	(株)マップフォー	合同会社reviews	(株) M T G Ventures
豊田エンジニアリング(株)	(株) ハッシン会議	Meister(株)	(株)八神製作所	(株) 大垣共立銀行
豊田合成(株)	弁理士法人服部国際特許事務所	学び舎m o m(株)	(株) ワークハピネス	(株) OKBキャピタル
豊田ケミカルエンジニアリング(株)	弁理士法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK	丸糸(株)	(株) 和口ボ	(株) 三十三銀行
トヨタ車体(株)	原田車両設計(株)	丸紅(株)	(株) OnePile	(株) 商工組合中央金庫
トヨタ自動車(株)	ハーマンインターナショナル(株)	丸紅セーフネット(株)		(株) ジャフコ
(株) 豊田自動織機	(株) 一旗	丸紅ネットワークソリューションズ(株)		(株) 十六銀行
豊田通商(株)	ピノベーション(株)	丸山洋一郎司法書士事務所		大和証券(株)
トヨタテクニカルディベロップメント(株)	(株) 氷感サプライ	三浦法律事務所		東海東京証券(株)
トヨタプロモーション(株)	ヒョウタン商事	三井化学(株) 名古屋工場		東洋証券(株)
(株) トライエッティング	(株) Photo electron Soul	三井住友海上火災保険(株)		(株) 名古屋銀行
トランコム(株)	(株) フォワードインターナショナル	三菱自動車工業(株)		名古屋市信用保証協会
どんぐりピット(同)	(株) FUJI	三菱重工業(株)宇宙事業部		(株) 名古屋証券取引所
中川法律経営事務所	(株) 富士インダストリーズ 中部支店	三菱電機(株)		名古屋中小企業投資育成(株)
名古屋テレビ放送(株)	(株) 富士カーボン製造所	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)		(株) 日本政策金融公庫
日本航空(株)	富士通(株)	(株) ミライプロジェクト		NOBUNAGAキャピタルビレッジ(株)
日本生命保険相互会社	Plug and Play Japan(株)	武蔵精密工業(株)		野村証券(株)
日本電気(株)	ブラザー工業(株)	明治安田生命名古屋本部		浜松ホトニクス・コーポレート・ベンチャー・キャピタル(株)
日本特殊陶業(株)	Plus Fukushi(株)	名南M&A(株)		フューチャーベンチャーキャピタル(株)
日本貨物鉄道(株) 東海支社	ブレイン・ゲートプラス	(株) メイホーホールディングス		碧海信用金庫
日本ガイシ(株)	ふれAI	盟和精工(株)		(株) みずほ銀行
日東工業(株)	(株)フレンドマイクロブ	メンタルコンパス(株)		(株) 三井住友銀行
neuet(株)	プロトスター(株)	(株) yaotomi		三菱HCキャピタル(株)
ネットプロテクションズ(株)	(株) プロドローン	八洲建設(株)		(株) 三菱UFJ銀行
(株) ノリタケカンパニーリミテド	(株) ヘルスケアシステムズ	ライフイズテック(株)		愛知信用金庫
行政書士バードアイ大里事務所	(株) ホットスペース	(株) リードル		

5 推進体制(Aichi-Startup推進ネットワーク会議メンバー)3

団体(39団体)		行政(29団体)	大学(21団体)	学識経験者(6名)
愛知県雇用労働相談センター	(公財)名古屋産業振興公社	財務省東海財務局	愛知県立芸術大学	名城大学
(公財) あいち産業振興機構	名古屋商工会議所	総務省東海総合通信局	愛知県立大学	名古屋女子大学
(一社) 愛知県情報サービス産業協会	日本公認会計士協会	中部経済産業局	岐阜大学	学識経験者
有限責任 あずさ監査法人	(株) 日本能率協会コンサルティング	愛知県	金城学院大学	愛知工業大学 参事 間瀬 好康
一宮商工会議所	日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター	名古屋市	椙山女学園大学	豊橋創造大学 教授 鈴木 宏幸
犬山商工会議所	PwC Japan有限責任監査法人	豊橋市	中京大学	名古屋大学大学院 教授 安田 孝美
EY新日本有限責任監査法人	(一社) Project INTEGRA	岡崎市	中部大学	
大府商工会議所	ミッドランド・インキュベーターズ	一宮市	豊田工業大学	
春日井商工会議所	(一社) 未来創造	瀬戸市	豊橋技術科学大学	
蒲郡商工会議所		半田市	名古屋工業大学	
江南商工会議所		春日井市	名古屋国際工科専門職大学	
常滑商工会議所		豊川市	名古屋産業大学	
特定非営利活動法人くるくる		刈谷市	名古屋商科大学	
(独) 国際協力機構中部センター		豊田市	名古屋市立大学	
国際連合地域開発センター		安城市	名古屋大学	
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター		西尾市	南山大学	
監査法人コスモス		蒲郡市	日本福祉大学	
(株) サイエンス・クリエイト		犬山市	藤田医科大学	
自然科学研究機構分子科学研究所		知立市	三重大学	
(独) 製品評価技術基盤機構 中部支所		常滑市	名城大学	
瀬戸商工会議所		稲沢市		
(独) 中小企業基盤整備機構 中部本部		新城市		
(一社) 中部経済連合会		大府市		
中部ニュービジネス協議会		知多市		
津島商工会議所		日進市		
東海若手起業塾実行委員会		田原市		
有限責任監査法人トーマツ		北名古屋市		
豊川総合用水土地改良区		東浦町		
(独) 国立高等専門学校機構 豊田工業高等専門学校		幸田町		
豊橋商工会議所				

[問合せ先]

Aichi-Startup推進ネットワーク会議事務局

[愛知県経済産業局革新事業創造部スタートアップ推進課]



[<https://www.aichi-startup.jp/>]
Aichi-Startup推進ネットワーク会議ポータルサイト



[<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/startup/>]
愛知県経済産業局革新事業創造部スタートアップ推進課Webサイト



[<https://stationai.co.jp/>]
STATION Ai (株) HP